

## 第四章 中退訓練生のプロフィール

### はじめに

中退訓練生ひとりひとりのプロフィールを記述する方法はつぎの通りである。

#### [A] 担任指導員の報告（指導員面接記録）

- ① 入校してから中退にいたる経過
- ② 中退時の中退理由
- ③ 訓練校在籍中の訓練成績，学習状況

#### [B] 家庭の状況（家庭環境調査）

#### [C] 訓練生個性調査プロフィール

- ① 職業興味プロフィール
- ② 知能偏差値
- ③ 職業適性プロフィール
- ④ 性格プロフィール

#### [D] 中退後の進路

### 第1節 第1群＜身体的な問題が主なる原因の中退＞の事例

<事例1> A君（c-009） 2年生<sup>2/1</sup> 千葉一印刷

精神的疾患のため入院した事例

<18才>

県立高校普通科卒

商店の手伝

<19才>

転職訓練生<sub>1年生</sub>

\*美術関係の仕事を  
やりたい希望

<20才>

一類2年生に転入

2年生

<sup>9/20</sup>

入院 ノイローゼ（発作がおきて）

\*一人でニヤニヤ笑ったり、  
わからない字を書いたり  
話のピントがあわなかつ  
たりして } 指導に  
こまった

<sup>2/21</sup>

<20才>

中退（ひき続き治療を要するため）

\*訓練は成績はよいときはよいが、  
その変動がはげしかった

第67図， A君の中退経過

#### <個性プロフィール>

知能偏差値はSS38で低い方であるが，適性性能では全般的にみて普通であるから，能力面では普通である。

職業興味の「機械的領域」では低い値を示し，訓練職種と興味は一致していない。

PI	氏名	A 君	1年生	43.44	46.47	45	出身 中学校名
	姓	-	学年	192502	192502	192502	3年生 クラス担任名

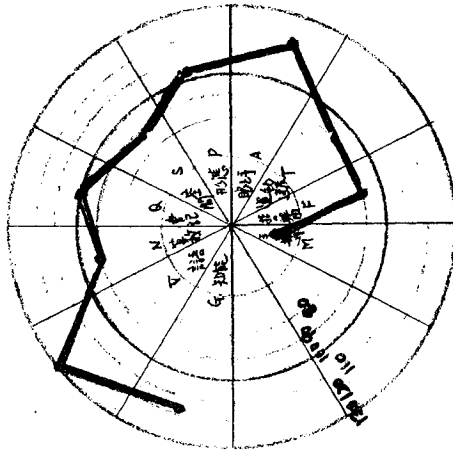
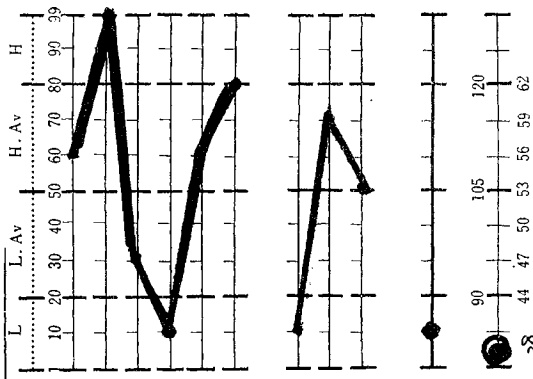
【A】職業興味プロファイル

興味の種類	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	17	60
B 自然的	30	99
C 機械的	20	30
D 実業的	5	10
E 芸術的	23	60
F 研究的	25	80
興味の種類	3	10
1 言語的	12	90
2 技能的	10	50
3 計算的		

興味水準  
a.  $\times 1 =$  \_\_\_\_\_  
b.  $\times 2 =$  \_\_\_\_\_  
c.  $\times 3 =$  \_\_\_\_\_

指数 49 (0)  
知能 備差値

【C】職業適性特性



訓練生個性調査原票

【D】矢田部ギルフォード性格検査プロフィール

標準点	1	2	3	4	5
パーソナル	1	2	3	4	5
D	5	10	20	30	40
C	1	2	3	4	5
I	2	3	4	5	6
N	3	4	5	6	7
O	4	5	6	7	8
C	5	6	7	8	9
A	6	7	8	9	10
G	7	8	9	10	11
R	8	9	10	11	12
T	9	10	11	12	13
A	10	11	12	13	14
S	11	12	13	14	15

抑うつ性小  
気分の変化小  
劣等感小  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびり  
思考的内向的  
服従的  
社会的内向

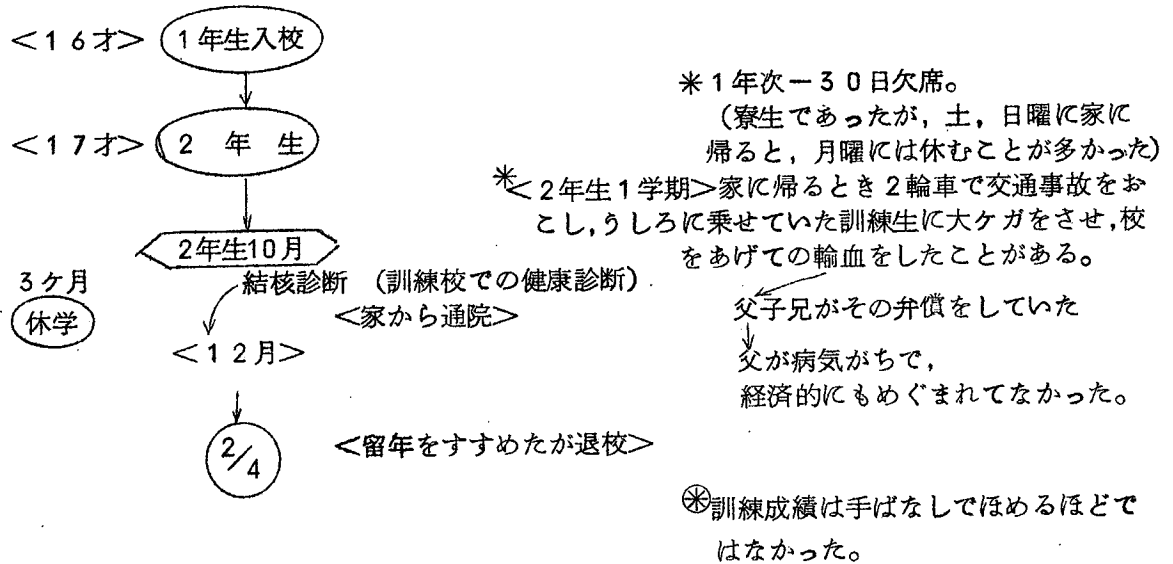
情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質  
非協調的  
攻撃的  
活動的  
思考的外向的  
支配性大  
社会的外向

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

職業訓練生調査研究部

<事例2> B君(c-032)(2年生<sup>2/4</sup>自動車整備)健康診断で結核と診断され、休学していたが、そのまま中退した事例。



第68図 B君の中退経過

<個性プロフィール>

知能偏差値はSS55で普通であり、訓練興味「機械的領域」は90 per で高く、訓練職種に対する興味はある。

性格も情緒的に安定し、社会的適応もよく、活動的で対人関係もうまくいくタイプである。

<家庭環境>

両親健在。父親46才、母親44才。持家で6室である。

農業で米作を主としており、田80アール、畑10アール、山、30アールを持っている。

兼業としては道路の橋作りなど出稼にしている。

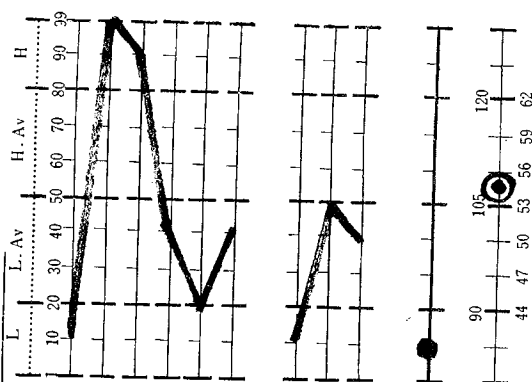
世帯月収は約6万で、経済的暮らしむきは「いくらかゝるしい」。

家族は男子2人と両親で、本人は次男である。

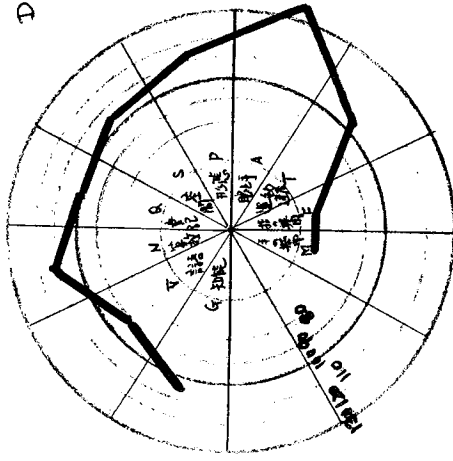
P1	氏名	B 君	1年度	43.44.48.46.47	統制名		出身 中学校名	
	科相	国 一 自	登録番号	0706091	クラス担任氏名		学年 クラス担任氏名	

**[A] 職業興味プロファイル**

興味領域	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	9	10
B 自然的	33	99
C 機械的	31	90
D 実業的	15	40
E 芸術的	16	20
F 研究的	18	40
興味の種類		
1 言語的	5	10
2 技能的	19	50
3 計算的	9	40
興味の水準		
a $\times 1 =$	41	10
b $\times 2 =$		
c $\times 3 =$		



**[C] 職業適性特性**



職業訓練生個性調査原票

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

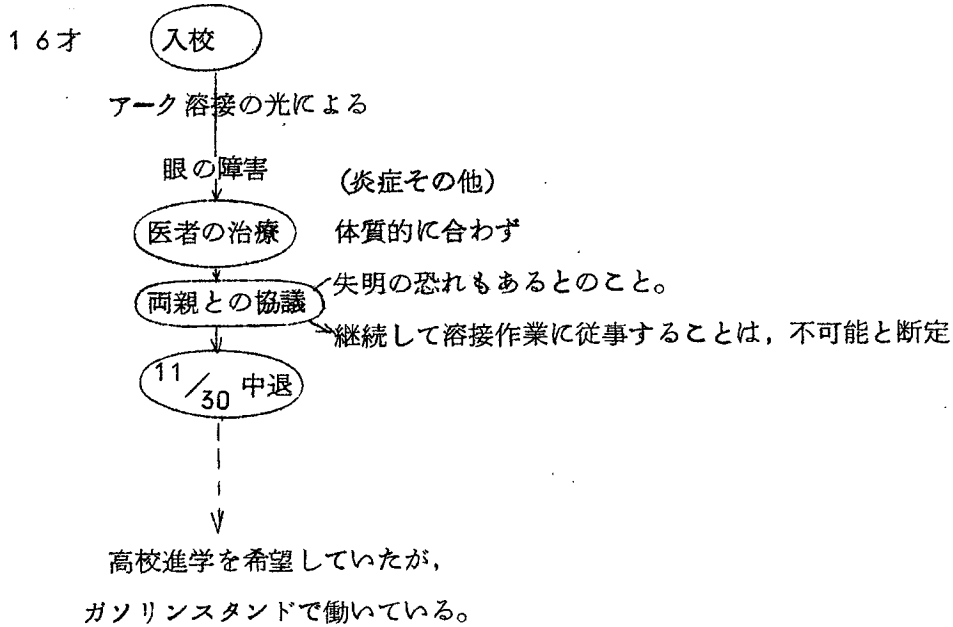
標準点	1	2	3	4	5
小テスト	1	2	3	4	5
D	10	15	20	25	30
C	10	15	20	25	30
I	10	15	20	25	30
N	10	15	20	25	30
O	10	15	20	25	30
C	10	15	20	25	30
A	10	15	20	25	30
G	10	15	20	25	30
R	10	15	20	25	30
T	10	15	20	25	30
A	10	15	20	25	30
S	10	15	20	25	30

情 緒 的 安 定  
 社 会 的 適 応 性  
 非 衝 動 的  
 非 活 動 的  
 内 省 的  
 非 主 導 的

抑うつ性大  
 気分の変化大  
 劣等感大  
 神経質でない  
 客観的  
 協調的  
 攻撃的でない  
 非活動的  
 内省的  
 非主導的

<事例3> C君 (1年生<sup>11</sup>/<sub>30</sub> 新潟一溶接)

眼の障害で、失明の恐れもあるので中退した事例。



第 69 図 C君の中退経過

△ 半年間の学科、実技修得意欲は平均以上のもの  
をもち、真剣に取り組んでいた。

学習面では論理的思考を要する点では少々欠  
ける点があった。

実技訓練では基本的内容が多かったので、な  
かなか良い成績を残している。

<個性プロフィール>

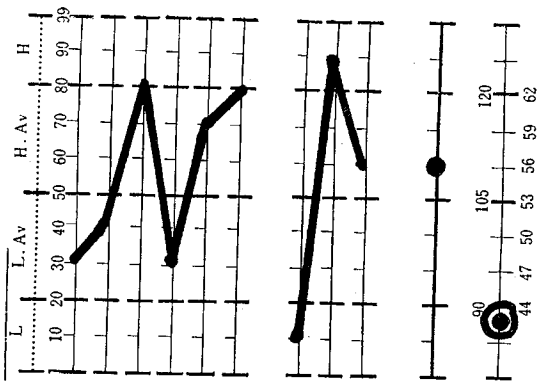
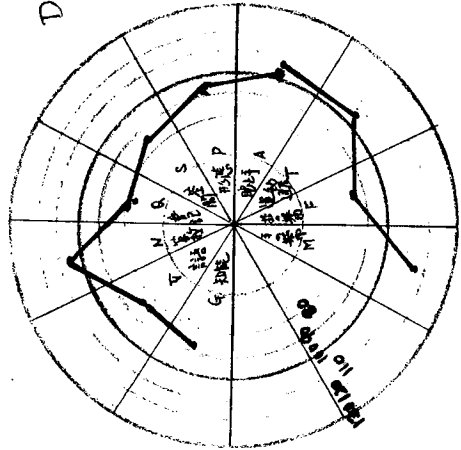
知能偏差値はSS43で普通よりやや低い、職業興味は訓練職種に対して高い。

P1	氏名	C 君	1年生 年度	43.44.45.46.47	被測者名		出身 中学校名	
	科	-	登録番号	0108071	クラス担任氏名	SxPa	3年次 クラス担任氏名	

**[A] 職業興味プロファイル**

興味領域	得点	パーセント タイム
A 対人的, 社会的	17	20
B 自然的	17	40
C 機械的	27	80
D 実業的	16	30
E 芸術的	26	70
F 研究的	25	80
興味の種類	得点	パーセント タイム
1 言語的	5	10
2 技能的	14	20
3 計算的	11	60
興味水準	得点	パーセント タイム
a X1 =	63	60
b X2 =		
c X3 =		

**[C] 職業適性特性**



**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点 ハセツク	1	2	3	4	5							
D	1	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95
C	0	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C <sub>0</sub>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A <sub>0</sub>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびり内向  
思考的内向  
服従的内向  
社会的内向

情緒不安定

社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびり内向  
思考的内向  
服従的内向  
社会的内向

情緒不安定

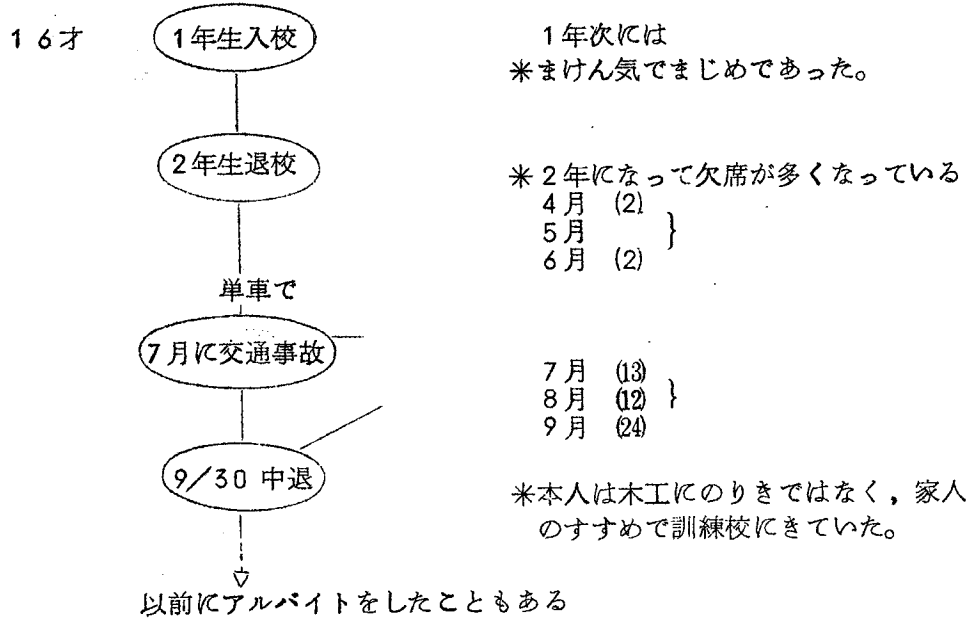
社会的不適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

訓練生個性調査原票

職業訓練学校 調査研究部

<事例4> D君 (2年生 9/33 愛知一木工)

単車による交通事故で通院しているうちに遊びぐせがついて中退



第 70 図 D君の中退経過

<個性プロフィール>

職業興味は「機械的領域」で90 per でかなり高い。

知能偏差値はSS64でかなり高い。

性格はB型で、情緒不適応、社会的不適応、活動的で外向的なタイプである。

<家庭環境>

母子家庭で、母親60才。

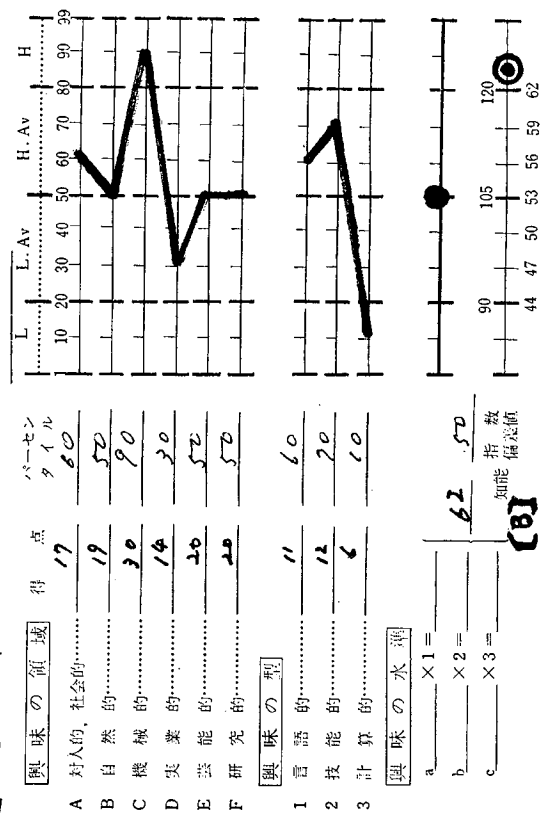
会社員で、庶務係所属で給与担当事務をおこなっている。

月収は6万である。

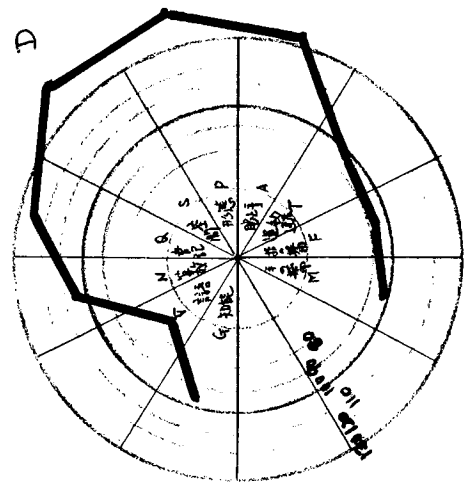
経済的くらしむきは「普通である」と記入してある。

PI	氏名	D 君	1年生 年度	43.44 (45) 46.47	系列名	出身 中学校名
	科	第一木	コンプレックス 登録番号	0611061	クラス担任氏名	3年次 クラス担任氏名

**【A】職業興味プロファイル**

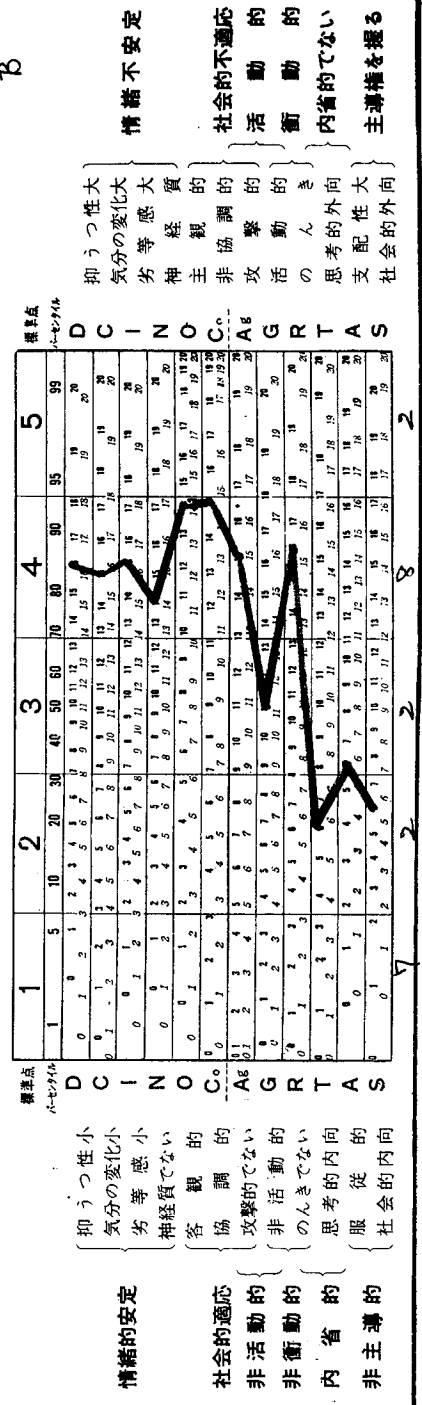


**【C】職業適性特性**



職業訓練学校 調査研究部

**【D】矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

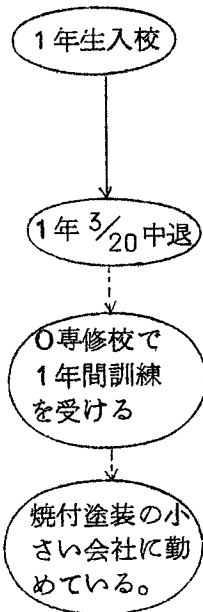




第2節 第Ⅱ群<個性的な問題が前面にだされた中退>の事例

<事例5> O君 (C-053) 1年生  $\frac{3}{20}$  愛知一塗装

知能が低くて訓練についていけない事例。



家人との協議の上中退してもらう。

(訓練についていけないため) 一人でなすとげた作品はなかった。

\*入校時にこのままでは就職できないので、仕事はともかく、訓練校においてくれということであった。  
(訓練校職員の紹介)

\*自宅から通校するのに、一人ではこれない様子もあり、汽車の時間がくると、いつまでもホームにたちどまっているくらいであった。

\*いつも一人ぼっちで、頭をさげて元気がなく、他人に話しかけられてもだまっていた。  
友人にからかわれることが多かった。

<月収4-5万>

第71図

<個性プロフィール>

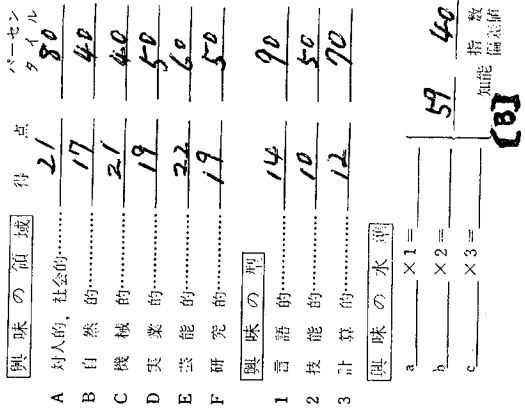
知能偏差値はSS35でかなり低い。これは職業適性検査でそのままあらわれている。

職業興味は機械的領域には低く、<対人的領域>に高い。

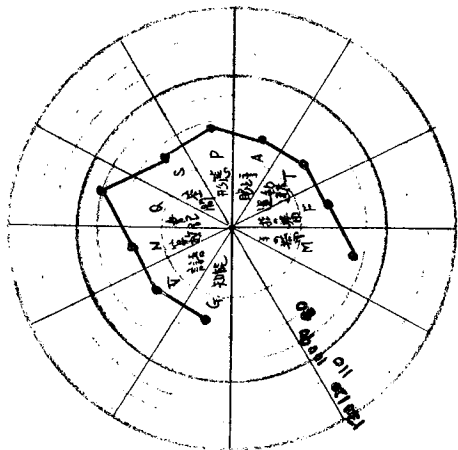
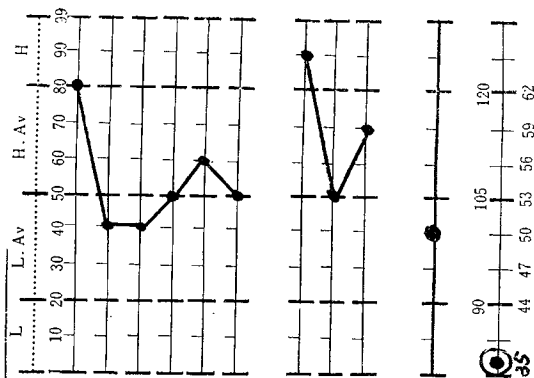
性格はB型で、情緒不安定、社会的不適応である。

P1	氏名	0 君	1年生	43.44(45)46.47	教科名	出身
	科	—	学年	06/206/1	クラス担任氏名	中学校名
			登録番号			3年生 クラス担任氏名

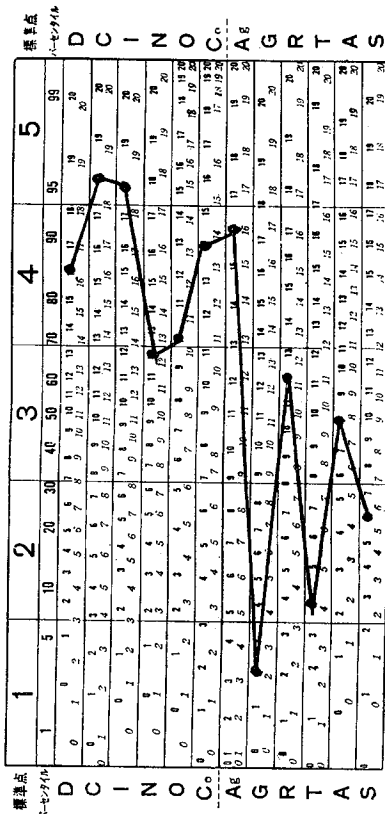
**[A] 職業興味プロファイル**



**[C] 職業適性特性**



**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**



抑うつ性小  
気分の変化小  
劣等感小  
（神経質でない）

情 緒 的 安 定

各 観 調 的  
（協 調 的）

社 会 的 適 応

非 活 動 的  
（非 衝 動 的）

非 衝 動 的  
（のんきでない）

内 省 的  
（思 考 的 内 向 的）

非 主 導 的  
（服 従 的 内 向 的）

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
（神主非攻活の思考支配的）

情 緒 不 安 定

各 観 調 的  
（協 調 的）

社 会 的 不 適 応

非 活 動 的  
（非 衝 動 的）

非 衝 動 的  
（のんきでない）

内 省 的  
（思 考 的 外 向 的）

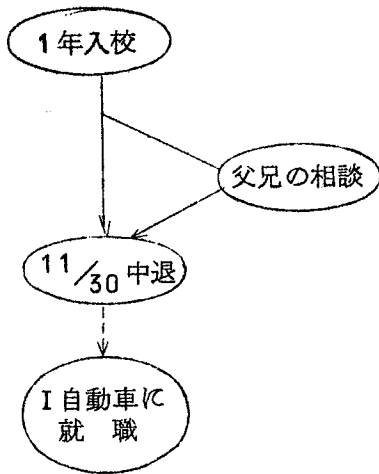
非 主 導 的  
（服 従 的 外 向 的）

訓練生個性調査原票

職業訓練学校調査研究部

<事例 6> P君 <C-084> 1年生<sup>11</sup>/<sub>30</sub> 石川一機械

自動車に興味をもち機械に興味がなくなった事例。



\*欠席が多くなった  
\*非行に走るようになった。

自動車に興味をもち、機械科には、あまり興味がなかった。

- 出席状態があまりよくなかった。  
(度々注意したが直らなかった)
- 訓練成績は中位。

(本人の好む自動車  
関係に就職した)

第 7 2 図

<個性プロフィール>

職業興味「機械的領域」は40 perでかなり低い。

知能偏差値はSS40でこれも低い。

PI	氏名	P 君	1年生	43.44.45.46.47	校訓名	HAMASHITA	出身 中学校名
	科	一	登録番号	040313 /	クラス担任氏名		3年次 クラス担任氏名

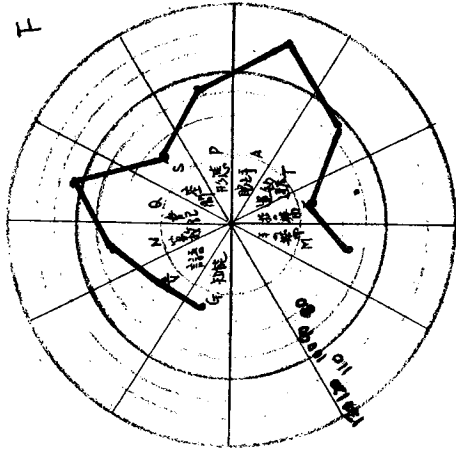
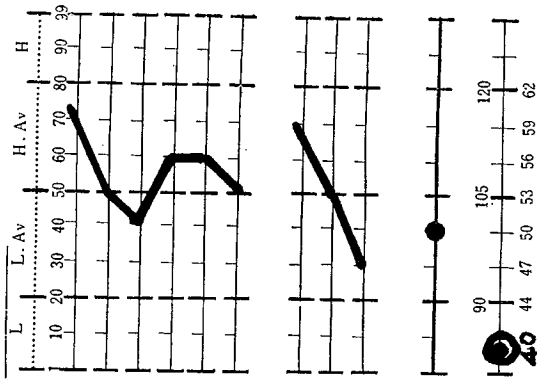
**[A] 職業興味プロファイル**

興味領域	得点	パーセント レベル
A 対人的, 社会的	19	20
B 自然的	18	50
C 機械的	21	40
D 実業的	21	60
E 空想的	23	60
F 研究的	21	50

興味の種類	得点
1 言語的	70
2 技能的	50
3 計算的	30

興味水準	指数	備註
a	X1 =	60
b	X2 =	40
c	X3 =	

**[C] 職業適性特性**



**職業興味検査 調査研究部**

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点 レベール	1	2	3	4	5
D	10	20	30	40	50
C	1	2	3	4	5
I	1	2	3	4	5
N	1	2	3	4	5
O	1	2	3	4	5
C <sub>0</sub>	1	2	3	4	5
A	1	2	3	4	5
G	1	2	3	4	5
R	1	2	3	4	5
T	1	2	3	4	5
A	1	2	3	4	5
S	1	2	3	4	5

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性  
気分の変化  
劣等感  
神経質でない  
攻撃的でない  
のんびり  
思考的  
社会的内向

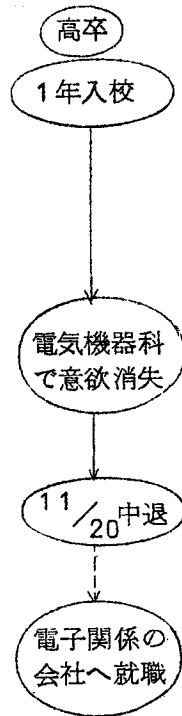
抑うつ性  
気分の変化  
劣等感  
神経質でない  
攻撃的でない  
のんびり  
思考的  
社会的内向

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

<事例 7 > Q君

<C-123 (H) > 1年生 11/20 福山-電気機器

電子科でなくてはいやであるということで中退した事例



\* 入校時電子科希望であったが定員がいっぱいで電気科に入校，本来，電子関係が希望で当初よりやる気がなく，意欲消失した。

\* 実技面では手先が器用であったが，すべてにおいて，全くやる気を見せなかった。

\* 学科は中の下，実技は中位。

第 73 図

<個性プロフィール>

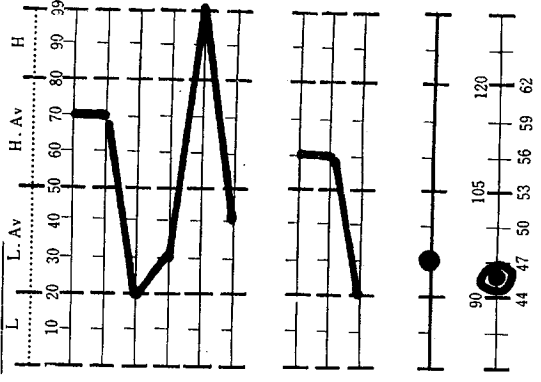
職業興味「機械的領域」は 20 per でかなり低い。

知能偏差値は SS 46 で普通程度である。

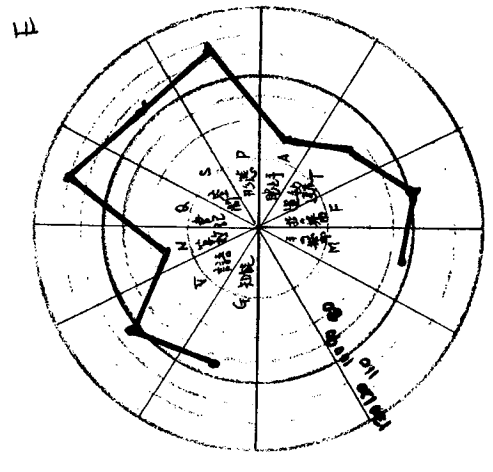
PI	氏名	Q 君	1年生	43.44.45.46.47	年齢	180/082	身長	180	体重	82	学年	1	性別	男
	姓	Q	年	43	度	44	校	45	名	46	47	前	名	48
	相	一	ウ	ン	ビ	ン	ク	ラ	ク	ラ	ク	ラ	ク	ラ
			ン	ク	ラ	ク	ラ	ク	ラ	ク	ラ	ク	ラ	ク

【A】職業興味プロファイル

興味領域	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	19	20
B 自然的	22	20
C 機械的	16	20
D 実業的	14	30
E 芸術的	22	27
F 研究的	17	40



【C】職業適性特性



興味の水準

a  $\times 1 =$  55  
 b  $\times 2 =$  30  
 c  $\times 3 =$  105

指数  
 105  
 120  
 44 47 50 53 56 59 62

【D】矢田部ギルフォード性格検査プロフィール

標準点	1	2	3	4	5							
抑制性小	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95	99
気分の変化小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
劣等感小	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
神経質でない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
客観的	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
協調的	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
攻撃的でない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
非活動的	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
内省的でない	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
思考的内向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
従内的	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
社会的内向	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

情緒的安定  
 社会的適応  
 非活動的  
 非衝動的  
 内省的  
 非主導的

抑うつ性小  
 気分の変化小  
 劣等感小  
 神経質でない  
 客観的  
 協調的  
 攻撃的でない  
 非活動的  
 内省的でない  
 思考的内向  
 従内的  
 社会的内向

情緒不安定  
 社会的不適応  
 活動的  
 衝動的  
 内省的でない  
 主導的

訓練生個性調査原票

職業訓練学校 調査研究部

<事例 8> R君

<C-007> 1年生<sup>2/4</sup> 千葉一第2自動車整備

自動車修理よりスポーツメカニクに興味があって中退

<私立高等商卒>

1年生入校

2月に中退

自動車整備  
車検場の係  
員で勤務

\* 入校動機は親からの言葉によれば、本人自身の考えで志望したのではなく、親のすすめにより入校志願した。

高校を修了したが行くところがないので、とりあえず、訓練校を志願したものである。

\* 総訓から1500m位の近くの魚屋の息子。

\* 本人は自動車について勉強したいということであったが、自動車に対する興味でも車の下に入ってよごれる修理屋よりも、スポーツメカニクに興味をもってより、はなやか道をおっていたのではないかと考えられるが。

第74図

\* 学科・実技とも上位であった。

<個性プロフィール>

職業興味機械的領域はかなり低く、<対人的><実業的>領域に高い。また、<技能型>でかなり低い。彼の行為にあっては傾向がみられる。

知能偏差値はSS50で普通である。

性格は情緒安定、社会的適応型をしめしている。

P1	氏名	君 尺	1年生	43.44(45)46.47	被刷名	千 葉	出身	中学校名
	科 相	—	学年	43.44(45)46.47	被刷名	千 葉	出身	中学校名
			学年	43.44(45)46.47	被刷名	千 葉	出身	中学校名

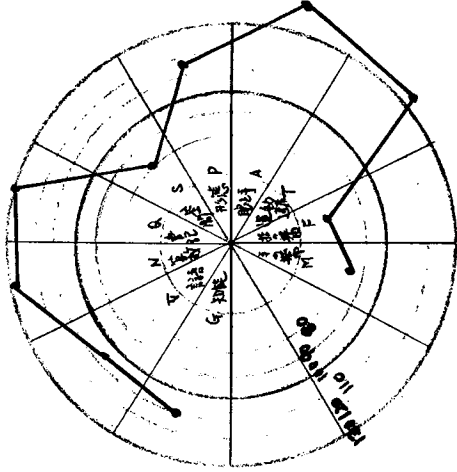
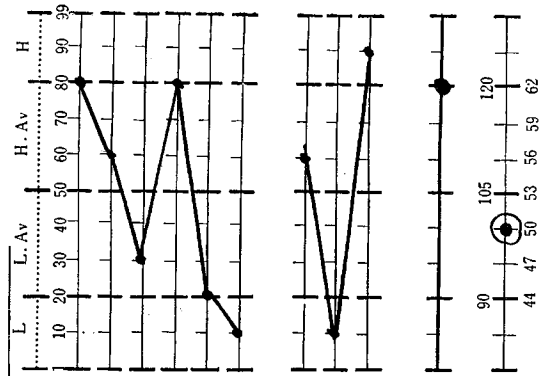
【A】職業興味70スケール

興味領域	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	22	80
B 自然	21	60
C 機械	18	30
D 実業	26	80
E 芸術	10	20
F 研究	20	10

興味型	得点	パーセント
1 言語的	10	60
2 技能的	4	10
3 計算的	14	90

興味水準  
 a  $\times 1 =$  67  
 b  $\times 2 =$  80  
 c  $\times 3 =$  80  
 指数 67  
 備置値 80  
 【8】

【C】職業適性特性



【D】矢田部ギルフォード性格検査プロフィール

標準点	1	2	3	4	5							
D	1	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

情緒的安定  
 社会的適応  
 非活動的  
 非衝動的  
 内省的  
 非主導的

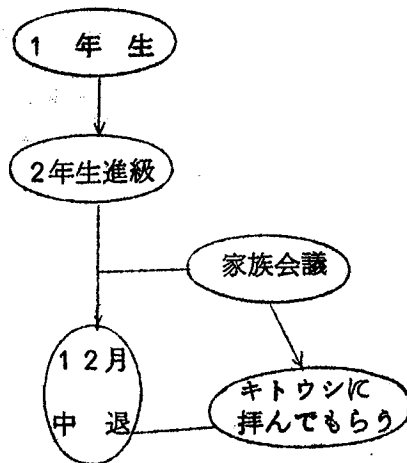
抑うつ性大  
 気分の変化大  
 劣等感大  
 神主非  
 客協  
 攻非  
 活の  
 のんきな  
 思考的  
 内省的  
 社会的



<事例 9 > S君

<C-023> 2年生12 / 鳥取-自動車整備

漁師になりたいということで中退



第 75 図

\* 漁師になることでやめた。

(友人の漁師が時折、よいかっこうで帰ってくるのでその気になったらしい)。

\* ともかく興味がなくて、一日もはやく社会にでて金がもうけたい。

○ 落ち着がなく、一つのわくの中に入れられる仕事はとてもしやらしかった。

○ 2年成績総合〔9/21〕

<個性プロフィール>

職業興味は「機械的領域」で30 per とかなり低い。

知能偏差値はSS 49 で普通である。

<家庭環境>

保護者の職業は稲作を主に、梨園をやっている。田8.5反、畑0.3畝、山30反である。

兼業としては土木工事にでている。

家族は両親と男子2人、女子1人で本人は長男である。

経済的くらしむきは「普通である」。

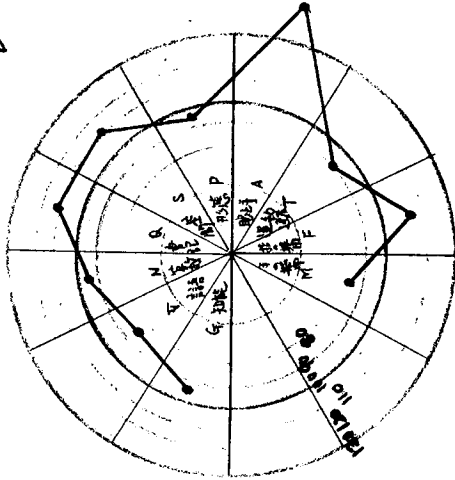
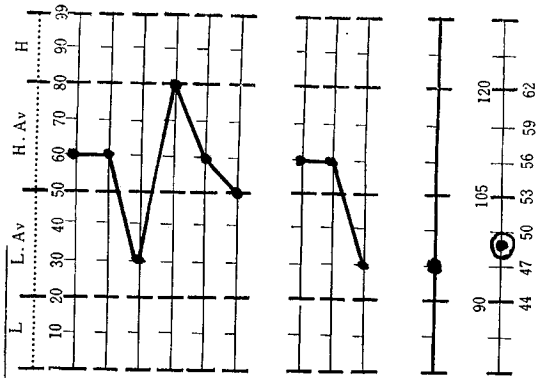
PI	氏名	S 君	1年生	43.44(45)46.47	教科名	出身
	科	-	学年	1506081	クラス担任氏名	中学校名
			登録番号			3年次
			登録場所			クラス担任氏名

**[A] 職業興味テスト**

興味領域	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	17	60
B 自然的	20	60
C 機械的	18	30
D 実業的	24	80
E 芸術的	22	60
F 研究的	20	50
興味の種類		
1 言語的	11	60
2 技能的	11	60
3 計算的	8	30
興味水準		
a X1 =	55	30
b X2 =		
c X3 =		

【B】

**[C] 職業適性特性**



**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点	1	2	3	4	5					
D	1	10	30	40	50	60	70	80	90	95
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
否親調的  
協調的でない  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびり  
思考的内向  
服従的  
社会的内向

情緒不安定  
社会的不適応  
生活衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

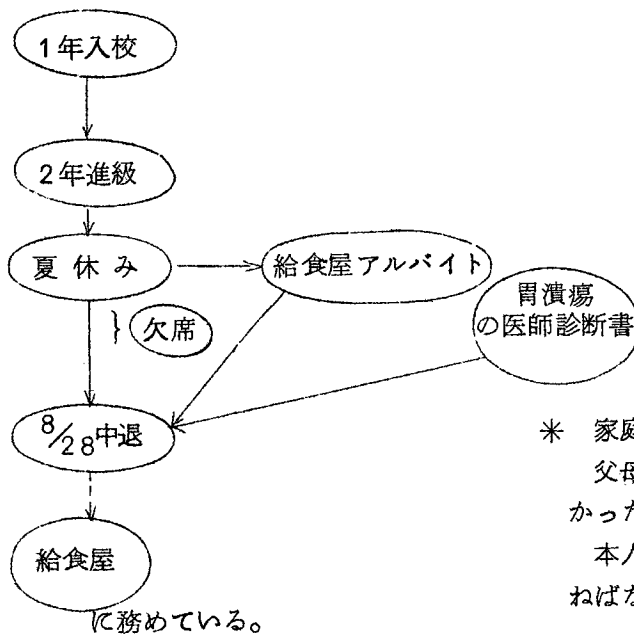
訓練生個性調査原票

職業訓練学校 調査研究部

### 第 3 節 第 III 群 <家庭環境が主たる原因の>中退事例

<事例 10> E 君 (C-031) 2 年生 8/28 岡山一仕上

家庭経済的理由で中退した事例



\* 家庭の経済的事情が主であった。  
父母は共働きしており、祖母、兄弟が多かった。  
本人の事は経済的にも家事も自分でやらねばならなかった。

第 76 図 E 君の中退経過

#### <家庭環境>

父は鋳造工で、月給 5 万、世帯全体の月収は 7 万であり、経済的くらしむきは「いくらかくなる」としている。(父の年齢 51 才) 住宅は賃貸住宅で 3 室で、1 人当りの畳数は 1.7 畳である。

家族は両親と、男子 3 人、女子 2 人で本人は次男である。

#### <個性プロフィール>

職業興味は訓練職種とかなり一致している。

知能偏差値は SS 47 で普通である。

性格は B 型で、不安定不適応積極型である。

P1	氏名	E 君	1年生 年度	43.44.45.46.47	教師名		出身 中学校名	
	姓	岡 一 位	ワシントン 登録番号	0704101	クラス担任氏名		3年次 クラス担任氏名	

**[A] 職業興味70スケール**

興味領域 得点

A 対人的, 社会的 ..... 16

B 自然的 ..... 26

C 機械的 ..... 32

D 実業的 ..... 15

E 能力的 ..... 13

F 研究的 ..... 17

興味の種類

1 言語的 ..... 30

2 技能的 ..... 70

3 計算的 ..... 50

興味の水準

a  $\times 1 =$  ..... 4P 10

b  $\times 2 =$  ..... 90

c  $\times 3 =$  ..... 44

指標 教 能  
偏 差 値

**[B] 職業適性特性**

**[C] 職業適性特性**

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点	1	2	3	4	5							
D	1	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

**[E] 職業適性特性**

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観的  
協同的  
攻撃的でない  
のんびりでない  
思考的内向  
服従的  
社会的内向

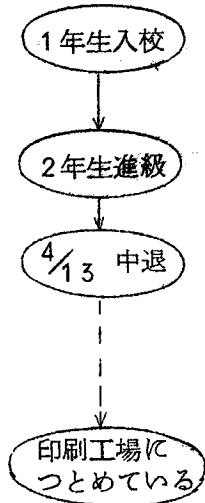
**[F] 職業適性特性**

情緒不安定  
社会的不適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

<事例 11> F君 2年生 4/4 千葉一印刷

父親の事業失敗のためにやめた事例

F君の中退経過



\* 父親の事業（落花生の菓子製造）がうまくいかなくなったので退校させたい旨，父が来校し申し出た。

\* まじめで他人に好かれる性格なので，本人の将来のために，ぜひとも出席受講させたかったが，本人も退校して家計を助けたいという意志が固いためやむなく中退する。

\* 訓練成績は最下位であった。

第 77 図

個<個性プロフィール>

職業興味は「機械的領域」でかなり低い。

知能偏差値はSS46で普通よりやや低い。性格は不安定不適応消極型でおとなしいタイプである。

<家庭環境>

父の職業は菓子小売商でピーナッツ菓子の製造，卸小売をしていた。（父親は55才）

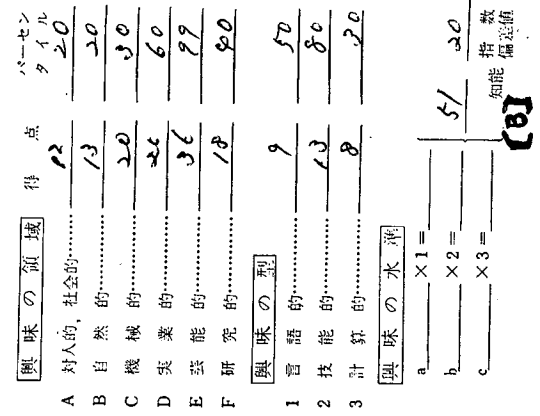
持家で3室である。

家族は本人と両親の3人である。

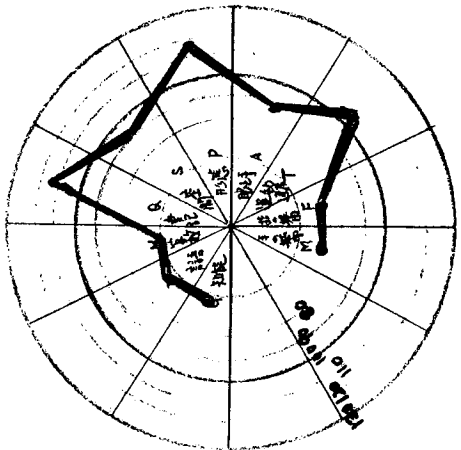
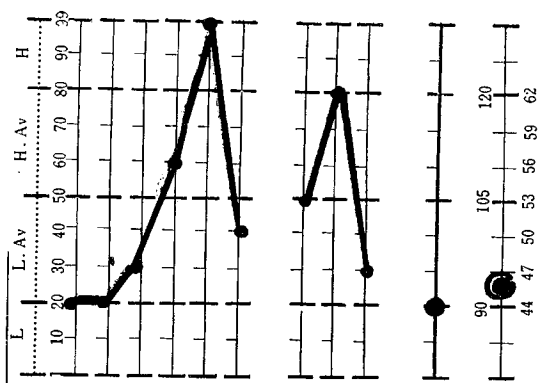
経済的くらしむきは調査時点では「普通である」と記されていた。

PI	氏名	F 君	1年生	43.44.46.47	46.47	藤別名	干孝	出身	中学校名
	姓	一	学年	192505	192505	クラス担任氏名		学年	クラス担任氏名

【A】職業興味プロファイル



【C】職業適性特性



【D】矢田部ギルフォード性格検査プロフィール

標準点	1	2	3	4	5
D	10	20	30	40	50
C	10	20	30	40	50
I	10	20	30	40	50
N	10	20	30	40	50
O	10	20	30	40	50
C	10	20	30	40	50
A	10	20	30	40	50
G	10	20	30	40	50
R	10	20	30	40	50
T	10	20	30	40	50
A	10	20	30	40	50
S	10	20	30	40	50

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性  
気分の変化  
劣等感  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんきでない  
思考的  
服従的  
社会的

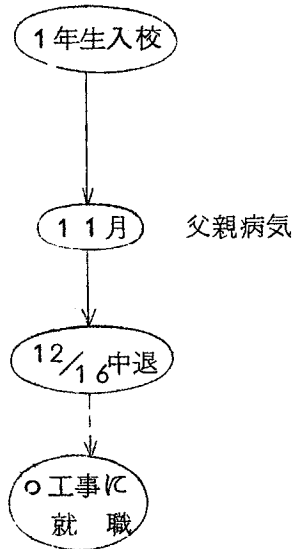
抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんきでない  
思考的  
服従的  
社会的

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

<事例 12> G君

<C-104> 1年生 2/16 八幡一溶接

父親の入院により収入がとだえた事例



- ・ 父親が病気で3ヶ月位通院しており、収入が途絶えてしまった。
- ・ 病気前も、父は出稼ぎで家計を維持していた。
- ・ 6人家族で彼が長男である。

⊗ 学科実技ともに中位で、自主的に学ぼうとする意欲にかけていたが、いわれたことはこつこつやった。

第 78 図 G君の中退経過

<個性プロフィール>

職業興味は訓練職種に対してかなり低く、<対人的><芸能的>領域に高い。

知能偏差値はSS 50で普通である。

性格はB型情緒不安定，社会的不適応，パーソナリティーの不均衡が外へあらわれやすい人である。

<家庭環境>

父親 47才，母親 39才。

父親は病気で生活保護をうけている。

家族は男子4人，女子1人の7人ぐらしである。

借家で3室，1人あたりの畳数は1.8畳である。

P1	氏名	Gt 君	1年生 年度	43.44.45.46.47	系列名		出身 中学校名	
	本姓	一	ウツクシ 登録番号	0908171	クラス担任氏名	SAKANO	3年次 クラス担任氏名	

**[A] 職業興味プロファイル**

- 興味の種類 得点
- パーセント  
タイトル
- A 对人的, 社会的..... 26
  - B 自 然 的..... 21
  - C 機 械 的..... 17
  - D 実 業 的..... 9
  - E 芸 能 的..... 26
  - F 研 究 的..... 22

- 興味の種類
- 1 言語的..... 60
  - 2 技能の..... 50
  - 3 計算的..... 20

興味水準

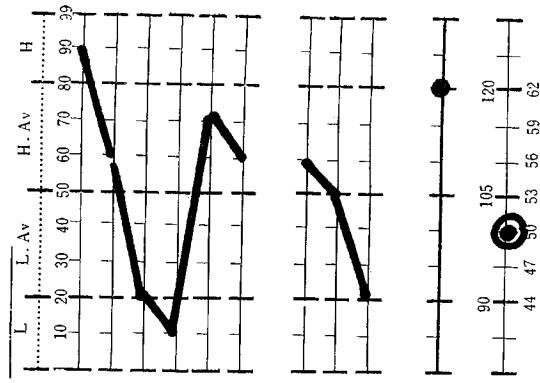
a \_\_\_\_\_ ×1 = \_\_\_\_\_

b \_\_\_\_\_ ×2 = \_\_\_\_\_

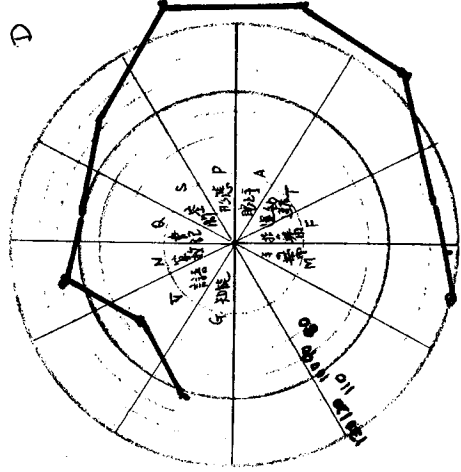
c \_\_\_\_\_ ×3 = \_\_\_\_\_

67 80

【8】



**[C] 職業適性特性**



**訓練生個性調査原票**

職業訓練学校 調査研究部

**[D] 矢野部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点	1	2	3	4	5							
D	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95	99
C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

抑うつ性小  
気分の変化小  
劣等感小  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびり  
思考的内向  
服従的内向

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質的  
主観的  
非協調的  
非活動的  
のんびり  
思考的外向  
支配的外向  
社会的

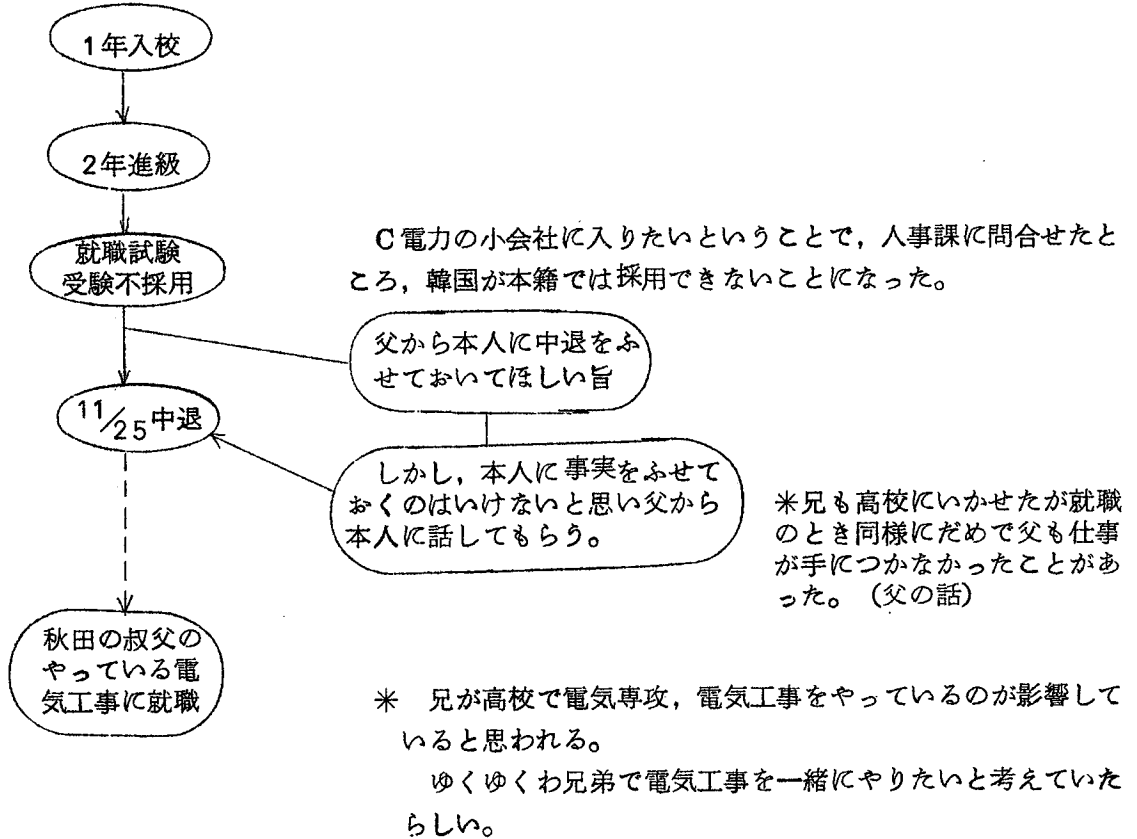
情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導権を握る



<事例13> H君

<C-026> 2年生 1/25 岡山一機械

本籍が日本ではなく、就職ができず中退した事例。



第 79 図 H君の中退経過

<個性プロフィール>

職業興味は機械的の領域で60パーセントで訓練職種との興味の一貫性は普通である。

知能偏差値はSS61でかなり高い。

性格はD型で、情緒的にも安定し、社会的適応もよく、活動的で対人関係もうまくいくタイプとなっている

<家庭環境>

両親健在で男子2人、女子2人の6人家族である。本人は次男である。

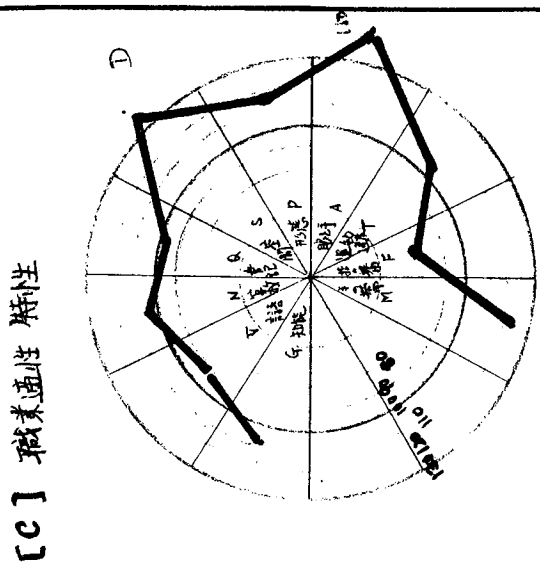
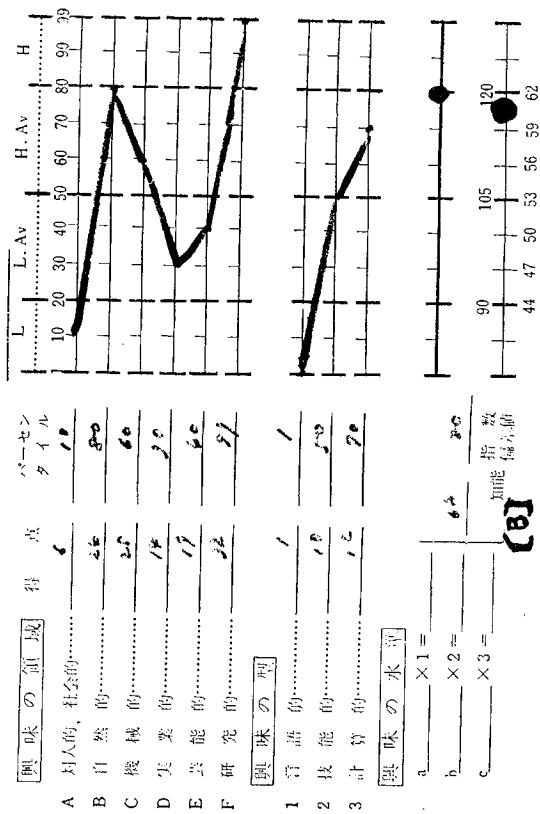
父の職業は古物商でボール紙などをスーパー・マーケットや家庭から下取りする仕事である。

持家で6部屋である。

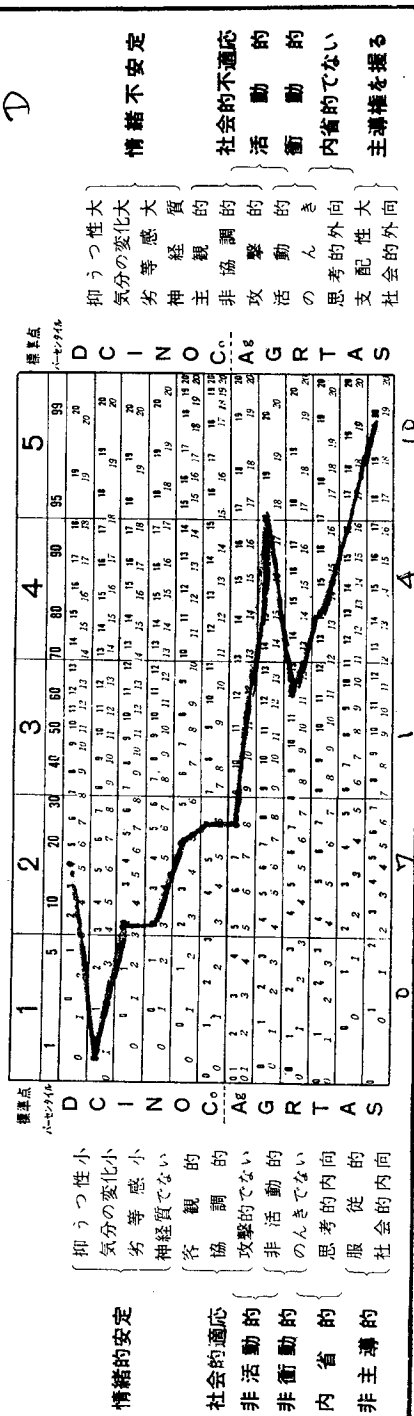
経済的暮らしは「いくらかゝるしい」としている。

P1	氏名	H 君	1年生	43.44.48.46.47	校副名		出身 中学校名	
	科目	図 一 税	ワビダ 登録番号	0703011	クラス担任の名		3年次 クラス担任の名	SS61

**[A] 職業興味プロファイル**



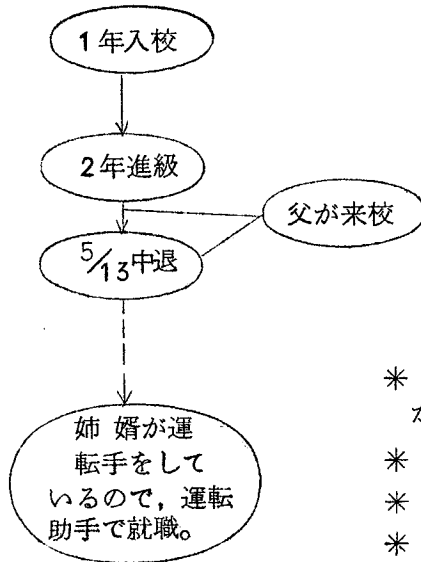
**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**



<事例14> I君

<C-036> 2年生 5/13 岡山-溶接

父親がアルコール中毒で家庭的にうまくいかず中退した事例



父は中退をさせてくれるなと行ってきた。

(定期的な金が入らなくなるからだろう)

- \* 父親がアルコール中毒で酒がきれると正常な判断ができなかった。
- \* 病気がちでもある。
- \* 父母は別居している。
- \* 生活保護を受けている。
- \* 寮には入らず、家からかよっていた。(つまり、金が入ると父親が飲んでしまうので入れなかった。)

○ 煙草、服装、友人関係はわるかった。

○ 実技はまじめによくやったが、学科はだめであった。

第80図 I君の中退経過

<個性プロフィール>

職業興味の機械的領域は70パーセントで高い。

知能偏差値はSS40でやや低い。

性格は平均型である。

<家庭環境>

父は無職で、長年の病気で家庭療養中である。

家族は両親と男子2人、女子1人の5人ぐらして、本人は長男である。

現在、母親は別居している。

父の学歴は海軍学校普通科卒で、年齢は47才である。

経済的くらしむきは、「とてもくるしいので生活保護を受けている。」

住宅は持家ではあるが、2室である。

PI	氏名	I 君	年生 年度	43.44.45.46.47	系列名	出身 中学校名
	科	国一法	ウツボツ 登録番号	0708101	クラス担任氏名	3年次 ウツボツ氏名

【A】職業興味プロファイル

興味の種類 得点

A 対人的、社会的	14
B 自然、機械的	24
C 機械的	26
D 実業的	22
E 芸術的	17
F 研究的	11

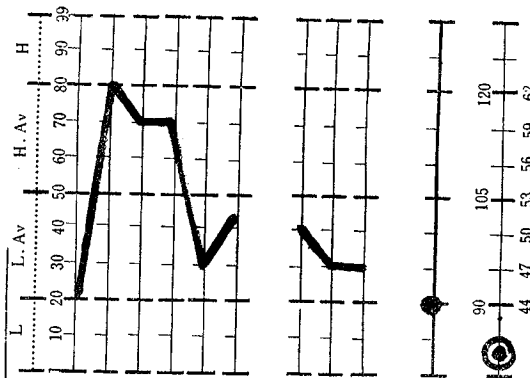
興味の種類

1 言語的	40
2 技能的	30
3 計算的	30

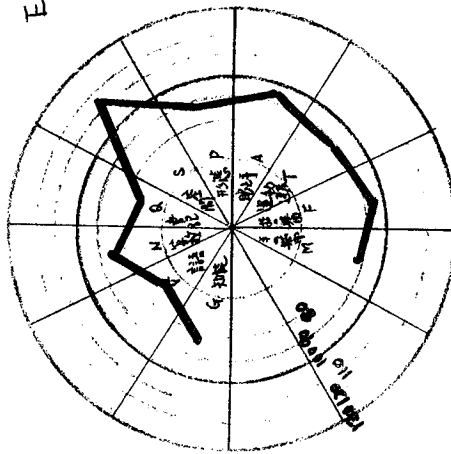
興味水準

a	×1 = 53
b	×2 = 30
c	×3 = 30

【B】



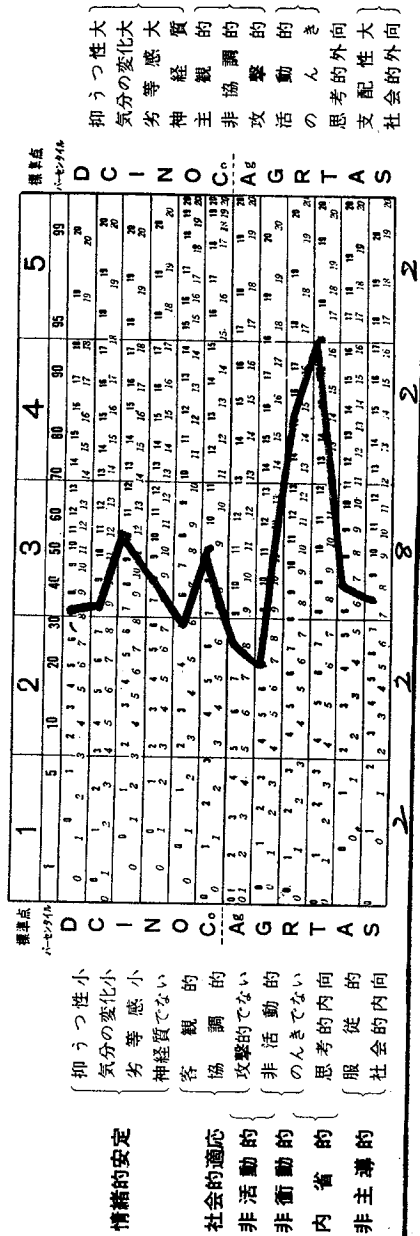
【C】職業適性特性



訓練生個性調査原票

職業訓練院 調査研究部

【D】矢田部ギルフォード性格検査プロフィール



情緒的安定  
社会的適性  
非活動的  
非活動的でない  
内向的  
内向的でない  
社会的

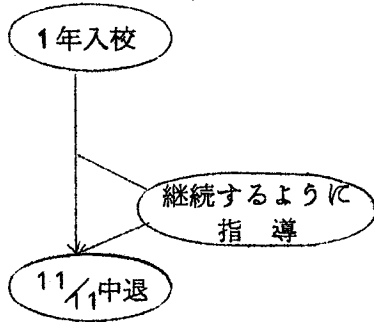
抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質的  
客観的  
協調的  
攻撃的  
非活動的  
非活動的でない  
内向的  
内向的でない  
社会的

情緒不安定  
社会的不適性  
活動的  
活動的でない  
内向的  
内向的でない  
社会的

<事例 15> J 君

< C-028 > 1年生 11/11 岡山一機械

叔父の工場の人手不足のために中退した事例。



\* 訓練を継続するように指導したが、親もその意志が強かった。

叔父の工場が人手不足で、ひきぬかれたため中退。  
(姫路で溶接工場をもっているため、そこで働くということである。)

○ 性格は無口でよい方であった。

○ 実技、学科ともまじめであった。

第 81 図 J 君の中退経過

<個性プロフィール>

職業興味機械的領域は 50 パーセントで低い方である。芸術的領域がかなり高い。

知能偏差値は SS 45 で普通よりやや低い。

性格は、C 型でおとなしい消極的な安定した、もの静かなタイプである。

<家庭的環境>

母子家庭。母親は 45 才。

母の職業はすし屋の店員である。

持家で、田 410 坪、畑 600 坪、山 450 坪を所有している。

家族は男子 1 人 (本人)、女子 1 人と母である。

経済的暮らしむきは「いくらかくなるしい」と書いている。

PI	氏名	丁君	1年生	43.44	46.47	48	49	50
	姓	田	年	44	46	47	48	49
	名	一	度	43	44	45	46	47
	姓	一	年	44	45	46	47	48
	名	キ	度	43	44	45	46	47
	姓	キ	度	43	44	45	46	47
	名	キ	度	43	44	45	46	47
	姓	キ	度	43	44	45	46	47
	名	キ	度	43	44	45	46	47
	姓	キ	度	43	44	45	46	47

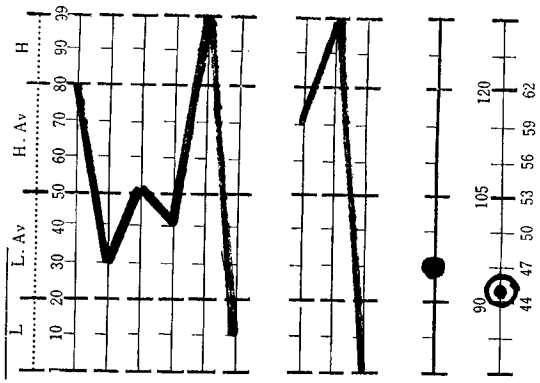
**[A] 職業興味70スケール**

興味の種類	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	21	30
B 自然	15	21
C 機械	23	33
D 実業	16	23
E 芸術	33	47
F 研究	12	17

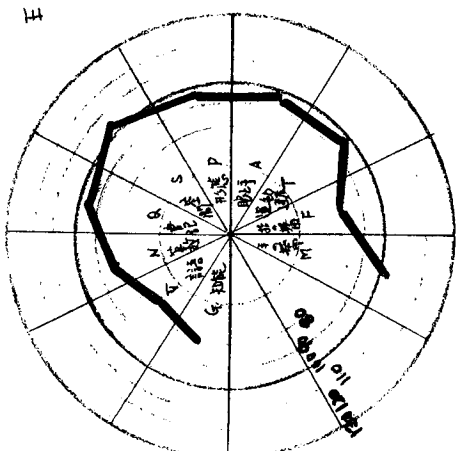
興味の種類  
1 言語的 70  
2 技能的 99  
3 計算的 1

興味の水準  
a  $\times 1 =$  57  
b  $\times 2 =$  30  
c  $\times 3 =$  30

【B】  
指数 知能 備忘欄



**[C] 職業適性特性**



職業訓練生個性調査原票

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点	1	2	3	4	5
抑うつ性	0	1	2	3	4
気分の変化	1	2	3	4	5
劣等感	2	3	4	5	6
神経質でない	3	4	5	6	7
客観的	4	5	6	7	8
協調的	5	6	7	8	9
攻撃的でない	6	7	8	9	10
非活動的	7	8	9	10	11
のんびりでない	8	9	10	11	12
思考的内向	9	10	11	12	13
服従的	10	11	12	13	14
社会的内向	11	12	13	14	15

情緒的安定  
社会的適性  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

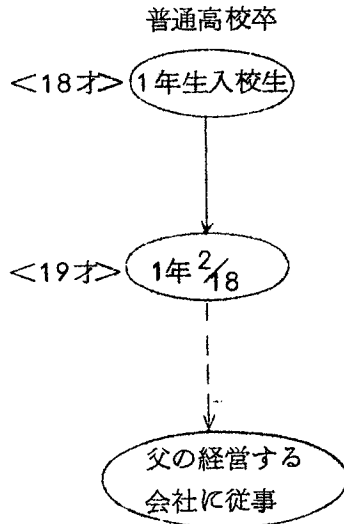
抑うつ性  
気分の変化  
劣等感  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびりでない  
思考的内向  
服従的  
社会的内向

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

<事例16> K君

<C-077(田)> 1年生 2/28 富山- 鑄造

家業に従事するための中退



＊ 父親が鑄造工場を経営しているために、鑄造作業の基礎的訓練を修得させる目的で1ケ年をきめて訓練を受けていた。

- 大変まじめで、年間出席率で85%
- 訓練成績は17名中4名。

第 82 図

<個性プロフィール>

職業興味は訓練職種に対してかなり高い。

知能偏差値はSS40で低い。しかし、職業適性検査の結果は平均的であるから、能力では普通といえよう。

<家庭環境>

家業は機械部品の鑄造の工場経営である。父親は57才、高等小学校卒である。

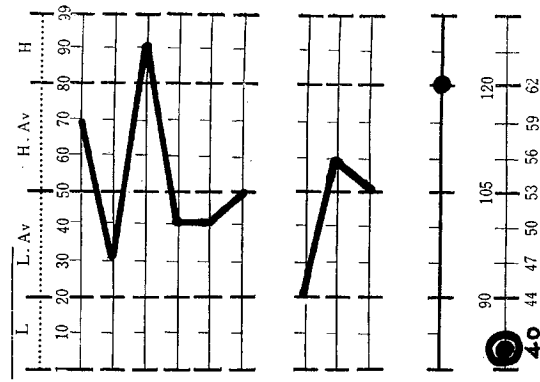
彼は両親と男子1人、女子2人の家庭構成の長男である。

月収は7万円で、経済的くらしむきは「普通である」としている。文化備品としては、カラー・テレビ、ステレオ、はない。

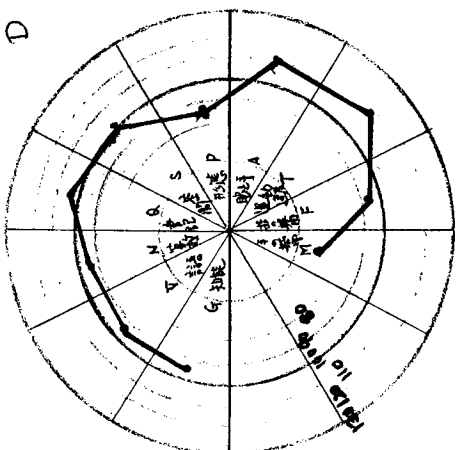
PI	氏名	K 君	年生	43.44.45.46.47	職別名		出身	中学校名
	本相	一	ワケヒツ 登録番号	0309022	クラス担任名	Uchi'i	3年次	クラス担任名

**[A] 職業興味プロフィール**

興味領域	得点	パーセント タイトル
A 対人的	20	20
B 自然的	15	30
C 機械的	29	70
D 実業的	16	40
E 業能的	19	40
F 研究的	27	50
興味タイプ		
1 言語的	6	20
2 技能的	11	60
3 計算的	10	50
興味水準		
a $\times 1 =$	68	80
b $\times 2 =$		
c $\times 3 =$		



**[C] 職業適性特性**



職業訓練学校 調査研究部

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点	1	2	3	4	5							
パーソナル	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95	99
D	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C <sub>0</sub>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A <sub>0</sub>	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

抑うつ性小  
気分の変化小  
劣等感小  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんきでない  
思考的内向  
服従的  
社会的内向

情緒的安定

社会的適応  
非活動的  
非活動的  
内省的  
非主導的

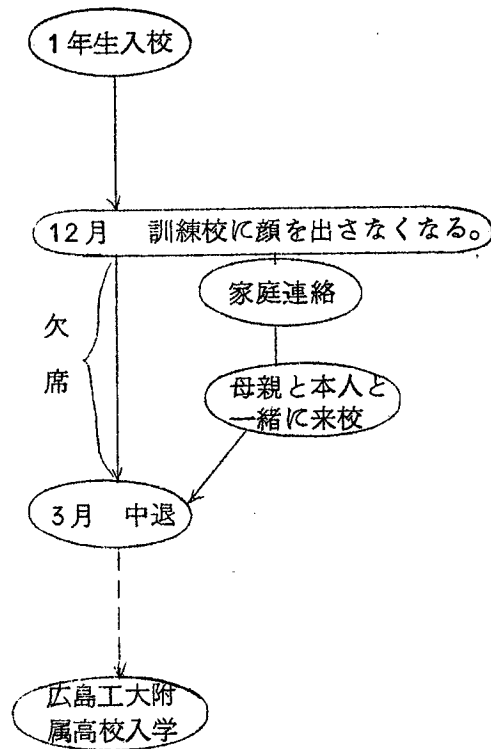
抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質的  
非協調的  
攻撃的  
活動的  
のんき  
思考的外向  
支配性大  
社会的内向

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
活動的  
内省的でない  
主導的



第 4 節 第IV群<他の教育機関に進路変更>の事例

<事例 17> L君 (C-117) 1年生 3/ 広島一自動車整備  
工業高校進学のために中退



\*欠席は受験勉強のため、

本人が昼間の高校でどうしても勉強したいので、訓練校をやめたい。

○ 在校中は非常におとなしく真面目に勉強していました。

○ 訓練成績はクラス全体の中ではあまりよい方ではありませんでしたが、中卒訓練生の中では中位の成績でした。

第 83 図 L君の中退経過

<個性プロフィール>

職業興味の機械的領域は60 per で普通である。

知能偏差値はSS59で高い方である。

P1	氏名	L 君	1年生	43.44.45.46.47	系列名	出身
	科相	—	ウレシイ 登封番号	170604 /	クラス担任の名	出身 中学校名
					MORISHI /	3年生 クラス担任の名

[A] 職業興味プロファイル

興味領域	得点	パーセント マイル
A 対人的, 社会的	23	90
B 自然, 機械	26	80
C 機械, 業務	26	60
D 実業, 研究	15	40
E 実業, 研究	17	30
F 実業, 研究	15	20

[興味の種類]

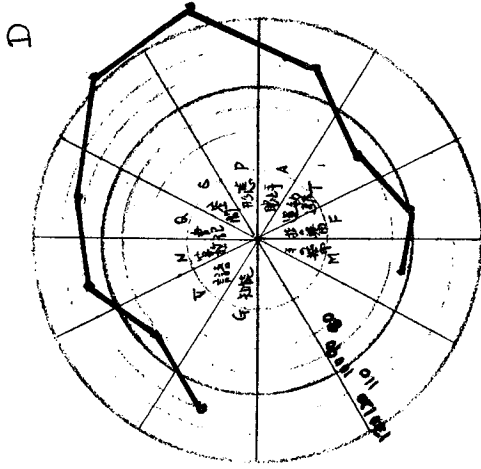
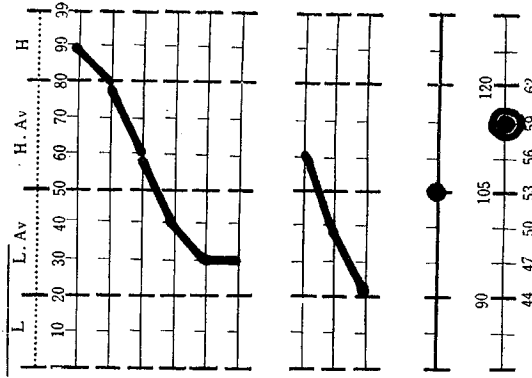
1 言語的	11	60
2 技能	9	60
3 計算	7	20

[興味の水準]

a	X1 =	62	10
b	X2 =		
c	X3 =		

【8】 指数  
偏差値

[C] 職業適性特性



[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール

標準点	1	2	3	4	5							
D	1	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C°	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

抑うつ性 小  
気分の変化 小  
劣等感 小  
神経質 小  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびりでない  
思考的内向  
服従的内向

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

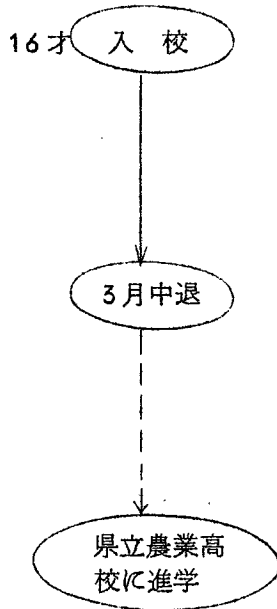
抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質大  
非主観的  
非協調的  
非攻撃的  
非活動的  
のんびりでない  
思考的内向  
服従的内向

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導的

<事例18> M君

<C-090> 1年生  $\frac{3}{23}$  佐賀一機械

農業高校に進学するために中退した事例。



1年間職業訓練を受けた後、将来、家業の農業を継がなくてはならないとの理由で農業高校に進学する。

⊗ 温厚な生徒であったがキビキビした動作に欠けていた。

○ 学科、実技ともに優れたものを持っていた（5番内には入っていた）

第84図

<個性プロフィール>

職業興味の値は農業など自然的領域に高く、機械的領域にはかなり低い。

知能偏差値はSS43で低いが、適性が高いので能力面では普通といえる。

<家庭環境>

農業が保護者の職業で、田84アール、畑15アールを所有している。

家族は6人で、母親と男子三人、女子二人で本人は三男である。

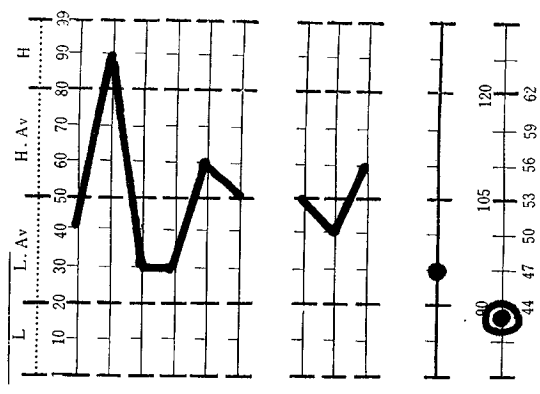
母親のみで、年齢は52才。

経済的暮らしむきは「いくらかゝるしい」としている。

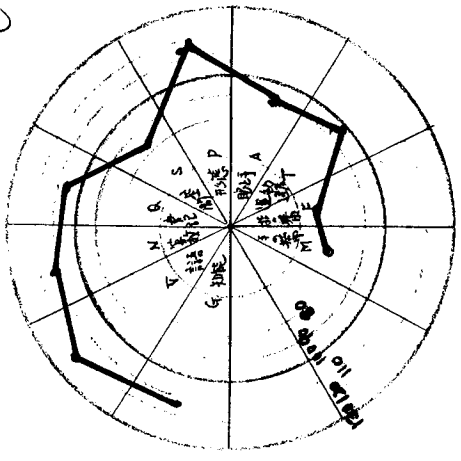
P1	氏名	M 君	1年生	43.44.45.46.47	年齢	17	出身	中学校名
	姓	一	学籍番号	0803191	学年	17	出身	3年次
	科		登録番号		学年	17	出身	3年次

**[A] 職業興味テスト**

興味領域	得点	パーセント
A 対人的, 社会的	15	60
B 自然的	29	90
C 機械的	18	70
D 実業的	14	30
E 芸術的	23	60
F 研究的	21	50
<b>興味の評</b>		
1 言語的	9	50
2 技能的	9	40
3 計算的	11	60
<b>興味水準</b>		
a	X1 =	55
b	X2 =	30
c	X3 =	30

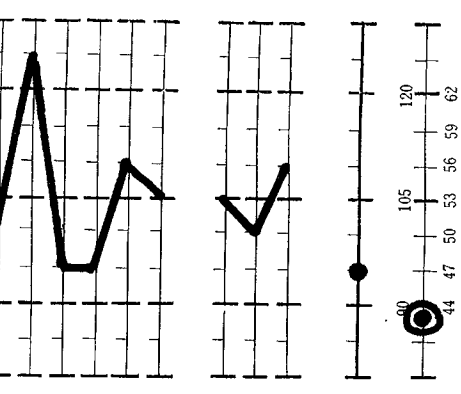


**[C] 職業適性特性**

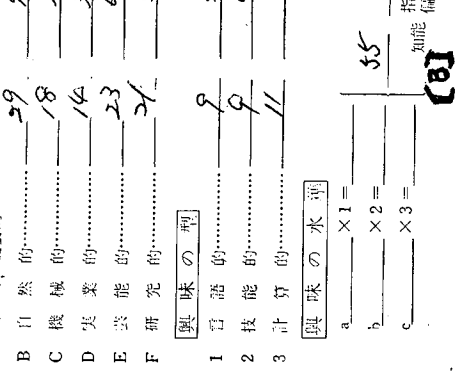


**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

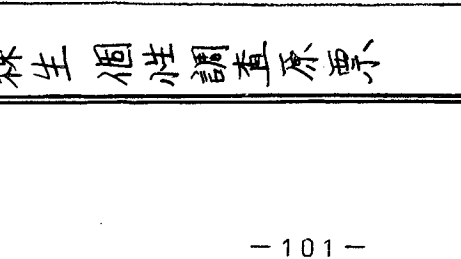
標準点	1	2	3	4	5							
D	5	10	20	30	40	50	60	70	80	90	95	99
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
I	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
N	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
O	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
C	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
G	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
R	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
T	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
A	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
S	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11



**[E] 職業適性特性**



**[F] 職業適性特性**



**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

抑うつ性小  
気分の変化小  
劣等感小  
神経質でない  
客観的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびりでない  
思考的内向的  
服従的  
社会的内向

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

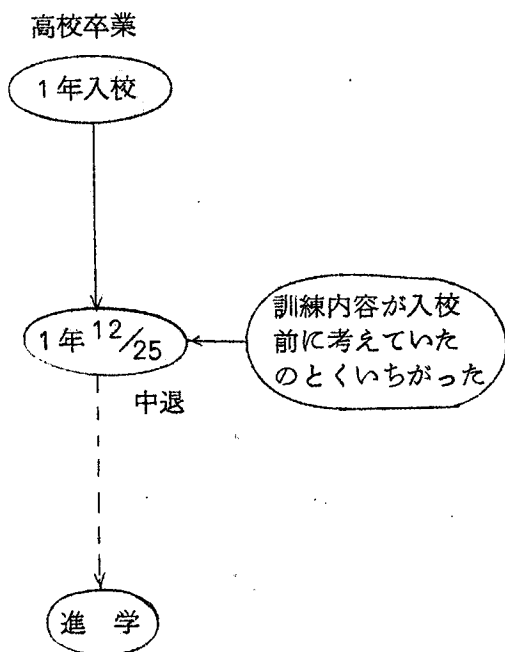
抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質的  
客観的  
攻撃的  
非活動的  
のんびりでない  
思考的外向的  
支配的外向的  
社会的

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導権を握る

<事例19> N君

<C-122(田)> 1年生<sup>12</sup>/<sub>25</sub> 福山一電子

高卒者で各種学校に進学するために中退



\* 自分の訓練校に入る前に考えていたことと入校してからの状況が違っていた。自分はコンピュータについて積極的に深く勉強したかったが、訓練校では導入程度位しかできないことに不満を持ち、退校、進学という道をとった。

⊗ 積極的であり、学習態度も非常に良かった。

訓練成績(上位)。

第 85 図

<個性プロフィール>

職業興味は、<機械的><芸術的><研究的>領域にそれぞれ高い。

知能偏差値はSS58でかなり高い。

性格はB型で不安定型である。

P1	氏名	N 君	1年生	43.44.45.46.47	裁判名	出身	中学校名
	本相	一	ワシントン 登録番号	1801072	クラス担任の名	3年次	クラス担任の名

**[A] 職業興味70スケール**

興味の種類	得点
A 対人的, 社会的	12
B 自然的	6
C 機械的	26
D 実業的	20
E 芸術的	27
F 研究的	29
興味の種類	
1 言語的	5
2 技能的	14
3 計算的	12

興味の水準

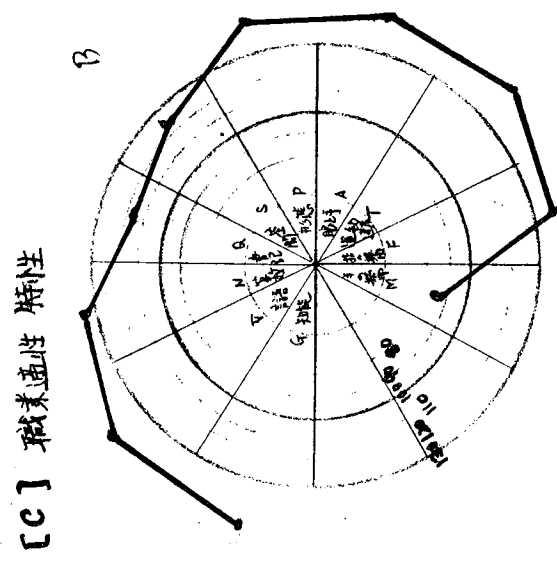
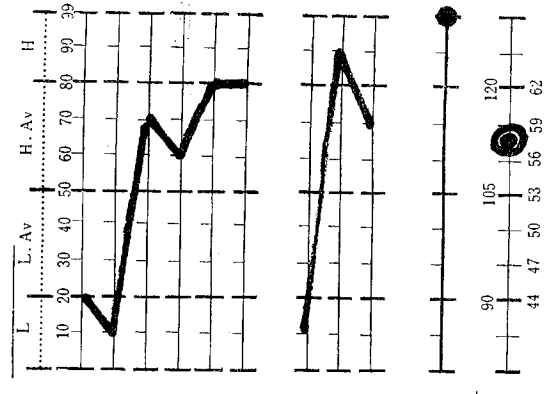
a.  $\times 1 =$  \_\_\_\_\_

b.  $\times 2 =$  \_\_\_\_\_

c.  $\times 3 =$  \_\_\_\_\_

76 99

加能 指数値



**[B]**

標準点	1	2	3	4	5
D	0	1	2	3	4
C	1	2	3	4	5
I	2	3	4	5	6
N	3	4	5	6	7
O	4	5	6	7	8
C	5	6	7	8	9
A	6	7	8	9	10
G	7	8	9	10	11
R	8	9	10	11	12
T	9	10	11	12	13
A	10	11	12	13	14
S	11	12	13	14	15

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

標準点	1	2	3	4	5
抑うつ性	0	1	2	3	4
気分の変化	1	2	3	4	5
劣等感	2	3	4	5	6
神経質でない	3	4	5	6	7
客観的	4	5	6	7	8
攻撃的でない	5	6	7	8	9
非活動的	6	7	8	9	10
のんびりでない	7	8	9	10	11
思考的内向的	8	9	10	11	12
服従的	9	10	11	12	13
社会的内向的	10	11	12	13	14

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非活動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質的  
客観的  
攻撃的  
非活動的  
のんびりでない  
思考的内向的  
服従的  
社会的内向的

情緒不安定  
社会的不適応  
活動的  
活動的  
内省的でない  
主導的

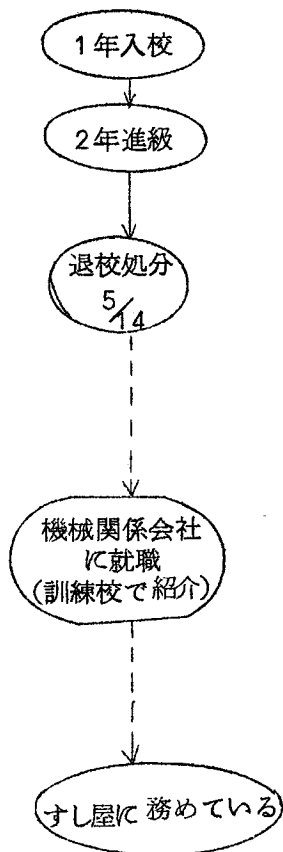
訓練生個性調査原票

職業訓練会生涯調査研究部

## 第 5 節 第 V 群「社会的不適応」の中退事例

<事例 20> T君 <C-048> 2年生 5/14  
愛知一機械

警察に補導され、問題となり退校処分



窃盗のアテ逃げで警察につかまり、退校処分  
(友人のとってきた車を3500円で買って、5000円で売った。その車でアテ逃げしてつかまった)。

- 頭のよい子で熱心であり期待していた。
- 父は65才で無職、母は36才、(家を離れたかったのではないか。家で自分の話を聞いてもらえないことも原因しているであろう)。

第 86 図 T君の中退経過

### <家庭環境>

生活保護家庭で月収は約5万円である。

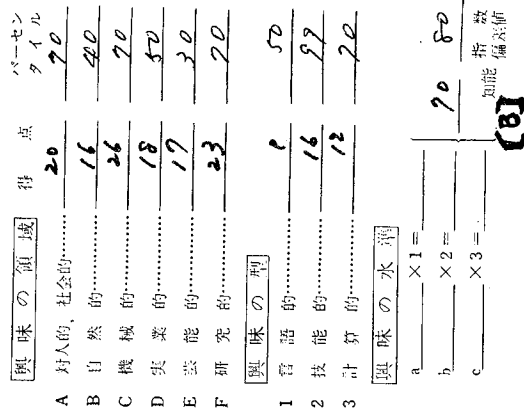
父親は病気で無職である。父は65才であり、これからも就業の可能性がうすい状態にある。

彼は4人家庭の長男である。

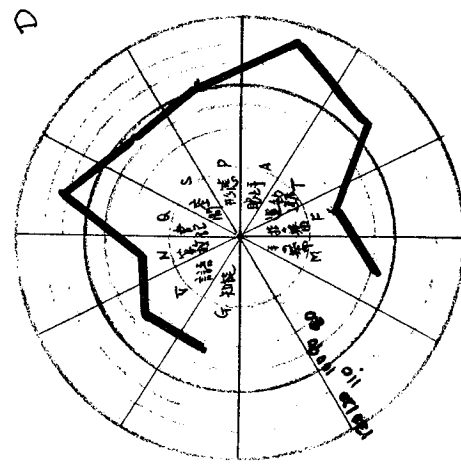
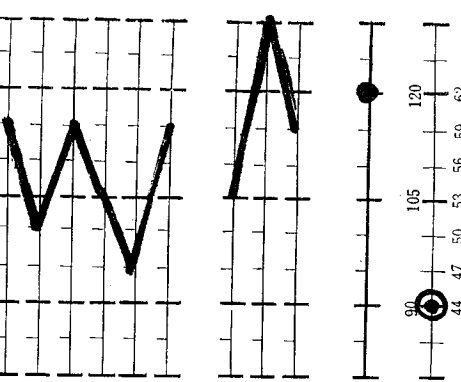
住宅は公営住宅にあり、部屋数は4部屋である。

PI	氏名	T 君	1年生	43.44	46.47	秋田県名	出身
	科	参一キ	学年	45	46	中学校名	3年次
				0603071		クラス担任氏名	クラス担任氏名

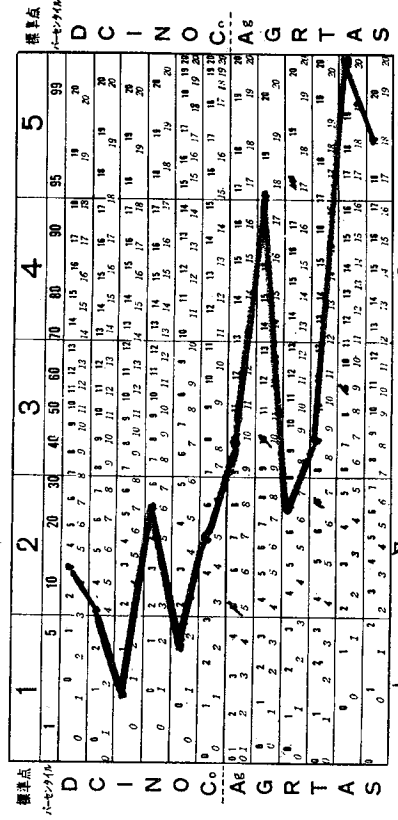
**[A] 職業興味プロフィール**



**[C] 職業適性特性**



**[D] 矢田部ギルフィールド性格検査プロフィール**



抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観的  
協動的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんきでない  
思想的内向的  
服従的  
社会的内向的

情緒的安定  
社会的適性  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観的  
協動的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんきでない  
思想的内向的  
服従的  
社会的内向的

情緒不安定  
社会的不適性  
活動的  
衝動的  
内省的でない  
主導的

訓練生個性調査原票

職業訓練学校 調査研究部

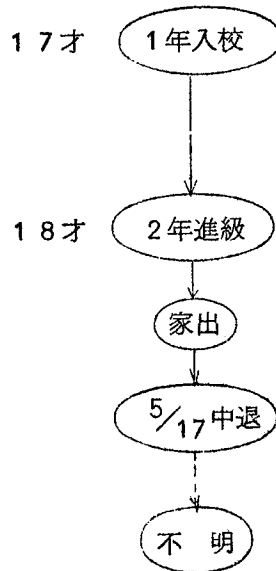


<事例 21> U君

<C-049> 2年生 5/17 愛知一機械

家出をした事例

<商業高校中退（1年で）>



\* 家出の原因ははっきりしないが、頭髪を切れ、ということ  
ことで家で口論。

また、兄と弟は高校にいらっているが、本人をかまってくれない

(小中学校では兄弟の中で一番成績がよかったそうである)

父親から所在がわからないから、中退させると申出があった。  
(親のところには「心配するな、元気だ」という電話があった)

- 商業高校中退（原因は入学直後友人をなぐってリストにのせられ、高校にいらなくなった）
- 訓練成績はよくなかった。学科は最下位。
- やりたくないことをやらされている感じであった。

第 87 図

<家庭環境>

家庭構成は両親と男子3人女子2人の7人で彼は次男である。(父親49才)

旧制名古屋高等工業を卒業している。

家業が豆腐製造販売業で、月収12万で経済的暮らしは「普通である」としている。

P1	氏名	U 君	1年生	43.44.45.46.47	被測者名	出身	中学校名
	科	一	学年	43.44.45.46.47	被測者名	3年生	クワダ銀行

**[A] 職業興味テスト**

興味領域 得点

A 対人的, 社会的	14
B 自然的	19
C 機械的	33
D 実業的	18
E 芸術的	15
F 研究的	21

パーセント  
タイトル  
30  
50  
99  
50  
20  
50

興味の種類

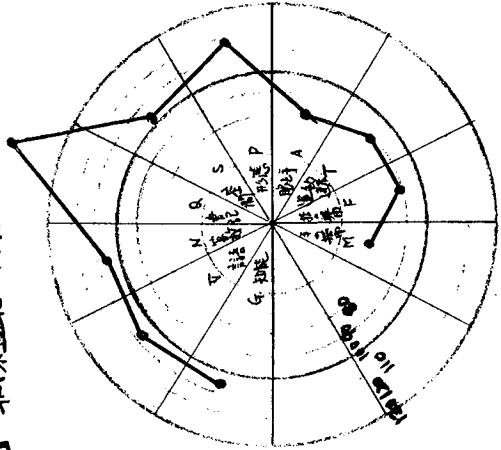
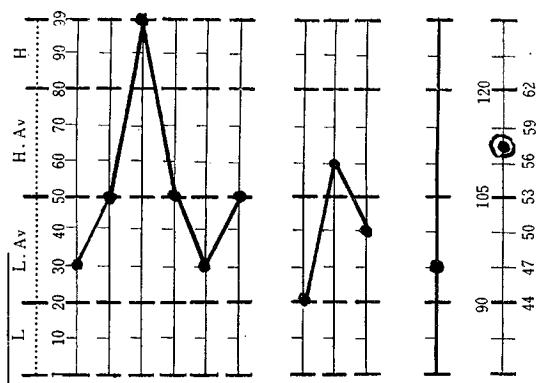
1 言語的	20
2 技能的	60
3 計算的	40

興味の水準

a	57
b	30
c	

指数  
備忘値

**[C] 職業適性特性**



**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**

1	2	3	4	5
1	5	10	20	30
2	1	2	3	4
3	1	2	3	4
4	1	2	3	4
5	1	2	3	4
6	1	2	3	4
7	1	2	3	4
8	1	2	3	4
9	1	2	3	4
10	1	2	3	4
11	1	2	3	4
12	1	2	3	4
13	1	2	3	4
14	1	2	3	4
15	1	2	3	4
16	1	2	3	4
17	1	2	3	4
18	1	2	3	4
19	1	2	3	4
20	1	2	3	4

標準点  
パーセント

1	2	3	4	5
1	5	10	20	30
2	1	2	3	4
3	1	2	3	4
4	1	2	3	4
5	1	2	3	4
6	1	2	3	4
7	1	2	3	4
8	1	2	3	4
9	1	2	3	4
10	1	2	3	4
11	1	2	3	4
12	1	2	3	4
13	1	2	3	4
14	1	2	3	4
15	1	2	3	4
16	1	2	3	4
17	1	2	3	4
18	1	2	3	4
19	1	2	3	4
20	1	2	3	4

標準点  
パーセント

情緒的安定  
社会的適応  
非活動的  
非衝動的  
内省的  
非主導的

抑うつ性大  
気分の変化大  
劣等感大  
神経質でない  
客観的  
協調的  
攻撃的でない  
非活動的  
のんびり  
思考的内向  
社会的内向

**訓練生個性調査原票**

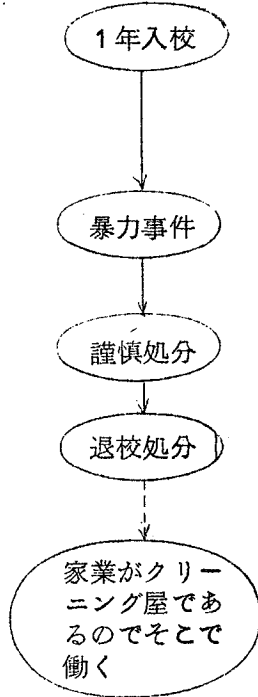
職業訓練学校 調査研究部

<事例22> V君

<C-045> 1年生 1/28 愛知一機械

暴力事件をおこし、退校処分

18才 <高等商卒>



2年生をなぐった。  
○ 訓練中に流れ作業をやっているとき、手すきになって「なにか品物をもってこい」と言ったが、もってこなかったので、なぐった。  
(相手は2年生でも年令的に下になるのにいうことをきかないのがおもしろくなかったらしい)

\*父親が来校しないため、退校処分。

○ 通校に2時間を要していたために欠席、遅刻が多かった。

第88図

<家庭の状況>

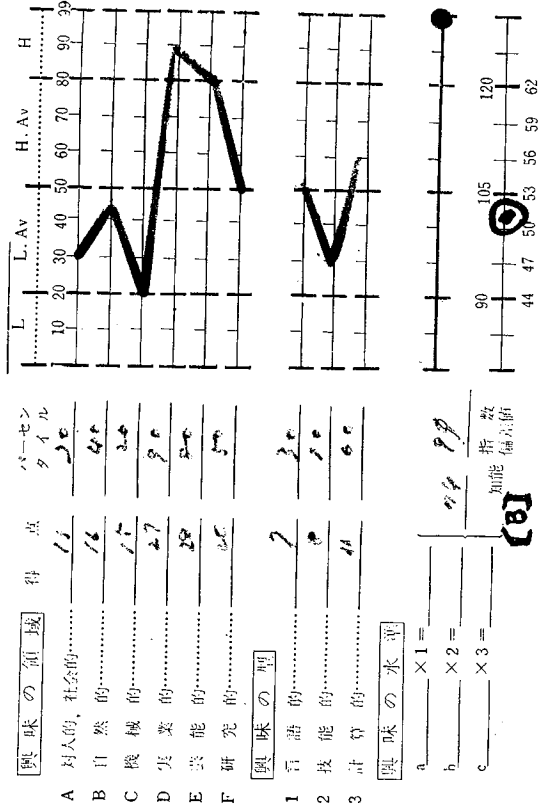
両親健在で父親は46才、母親は42才である。

家業として、クリーニング屋を経営しており、月収10万、経済的暮らしは「普通である」となっている。

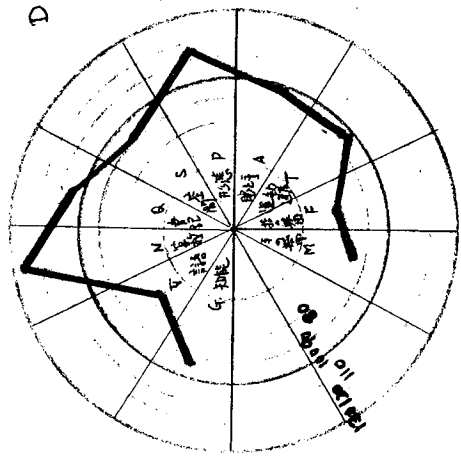
家族構成は両親と3人ぐらして彼は1人子である。

P1	氏名	V 君	1年生	43.44(48)46.47	校則名	3年次	出身中学校名
	姓	多一	学年	06030/2	クラス担任氏名	クラス担任氏名	出身中学校名

**[A] 職業興味テスト**



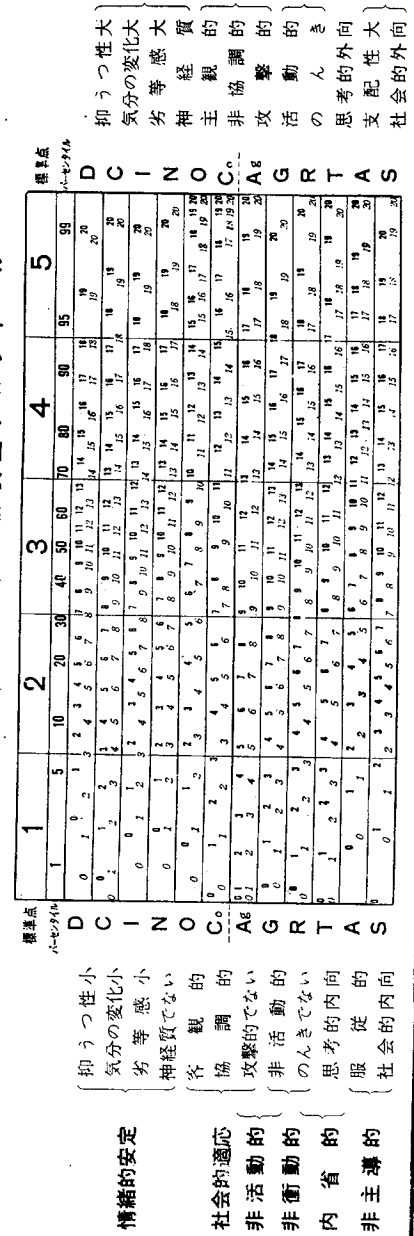
**[C] 職業適性特性**



**訓練生個性調査原票**

職業訓練校 調査研究部

**[D] 矢田部ギルフォード性格検査プロフィール**



## 第 6 節 ま と め

1. 中退する可能性は、個人的因子のみできまるのではなく、経済的能力、近親者の状態、教育制度の状況、訓練校の状況など個人に対する社会的な影響との作用関係によって規定される。<sup>14)</sup>
2. 中退訓練生の中退後の進路は、72%まで担任指導員が知っている。  
ゆえに、中退時の進路相談を組織的に実践する基礎はあると解釈できる。
3. 進路が認知されている中退訓練生89名のうち、41名の46%が技能系職種に進路を選択している。
4. 中退理由分類群ごとの中退後の進路の認知度は次の表のごとくである。

中退分類		中退後の 進路判明数	事 例 数	進 路 の 認 知 度
I	身体	7	12	58.3
II	個性	20	23	86.9
III	家庭	22	23	95.6
IV	進路変更	6	6	100.0
V	「社会不適應」	16	31	51.9
VI	不明	18	28	64.2
計		89	123	72.4

14) 伊藤祐時：カウンセリングの技術 6.3.3 進路指導

P 45 少年少女の大学へ行ける可能性を研究して、ハビーハーストとロジャースは次のような可能性の公式を設定した。

大学入学の可能性 = 精神的諸能力 + 社会的期待 + 個人の動機 + 経済的能力 + 近親の状態